SONY

3-280-782-**02**(1)

XDCAM EX Clip Browsing Software

ユーザーガイド Version 1.01

XDCAM EX

© 2007 Sony Corporation

権利者の許諾を得ることなく、付属のソフトウェアおよび取扱説明書の内容の全部または一部を複製すること、および付属のソフトウェアを賃貸に使用することは、著作権法上禁止されております。

© 2007 Sony Corporation

ソフトウェアを使用したことによるお客様の損害、または第三者からのいかなる請求についても、当社は一切その責任を負い兼ねます。

ハードウェアにトラブルが発生して記録内容の修復が不可能になった場合、当社は一切その責任を負い兼ねます。

万一、製造上の原因による不良がありましたらお取り替えいたします。それ以外の責はご容赦ください。

付属のソフトウェアは、指定された装置以外には使用できません。

付属のソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

目次

Windows 編

はじめに 6

概要 6

ソフトウェアのインストール 7

CD-ROM からインストールする場合 7

起動と終了 8

ソフトウェアを起動する 8

ソフトウェアを終了する 8

各部の名称と働き 9

操作ウィンドウの構成 9

情報ウィンドウ 10

Viewer（ビューアー）ウィンドウ 11

作業対象メディア / フォルダーの選択 13

クリップの操作 14

クリップをコピーする 14

クリップを移動する 15

クリップを削除する 16

分割されたクリップを連結する 16

クリップをインポートする 17

クリップをエクスポートする 17

クリップの内容をプレビューする 18

クリップの代表画を変更する 19

クリップを検索する 19

クリップの情報を参照する 19

フォルダー / メディアの操作 22

XDCAM EX 機器用クリップのフォルダーについて 22

フォルダーを作成する 22

フォルダーを削除する 23

フォルダーを分割する 23

フォルダーを結合する 24

メディアやフォルダー内のクリップをまとめてコピーする 24

付録 25

使用上のご注意 25

環境設定 26

解像度設定 26

ショートカットキー一覧 27

Mac OS 編

はじめに 31

概要 31

ソフトウェアのインストール 32

CD-ROM からインストールする場合 32
起動と終了 33
ソフトウェアを起動する 33
ソフトウェアを終了する 33
各部の名称と働き 34
操作ウィンドウの構成 34
情報ウィンドウ 35
Viewer（ビューアー）ウィンドウ 36
作業対象メディア / フォルダーの選択 37
クリップの操作 38
クリップをコピーする 38
クリップを移動する 39
クリップを削除する 40
分割されたクリップを連結する 40
クリップをインポートする 41
クリップの内容をプレビューする 41
クリップの代表画を変更する 42
クリップを検索する 42
クリップの情報を参照する 43
フォルダー / メディアの操作 45
XDCAM EX 機器用クリップのフォルダーについて 45
フォルダーを作成する 45
フォルダーを削除する 46
フォルダーを分割する 46
フォルダーを結合する 47
メディアやフォルダー内のクリップをまとめてコピーする 47
付録 48
使用上のご注意 48
環境設定 49
ショートカットキー一覧 50

Windows 編

Windows の場合の設定方法を説明します。

はじめに

本書の対象読者

本書では、Microsoft Windows 上で動作する XDCAM EX Clip Browsing Software（XDCAM EX クリップブラウジングソフトウェア）について説明しています。本書は、このソフトウェアを使ってファイルやフォルダーを操作するユーザーを対象としており、読者に Microsoft Windows の操作に関する基本的な知識があることを前提としています。

概要

XDCAM EX Clip Browsing Software は、XDCAM EX 機器で使用されるクリップを操作するためのソフトウェアです。本ソフトウェアをコンピューターにインストールすると、クリップのコピー、移動、削除を行ってクリップを整理したり、クリップのフォーマットを変換するなどの操作を、GUI（グラフィカルユーザーインターフェース）を使って簡単に行うことができます。また、クリップをプレビューしたり、クリップに付属するメタデータを参照することもできます。
本ソフトウェアで操作できるクリップのフォーマットは、XDCAM EX フォーマットの互換データです。

ソフトウェアの動作環境

本ソフトウェアを動作させるには、次の条件を備えたコンピューターを用意してください。

項目	条件
OS	Microsoft Windows XP SP2 以降（32bit 版）、または Microsoft Windows Vista（32bit 版）a)
CPU	Intel Pentium III 1GHz 相当以上（Intel Pentium D 3GHz 相当以上を推奨）b)
メモリー	512MB 以上（1GB 以上を推奨）

a) Microsoft、Windows および Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
b) Intel および Pentium は、アメリカ合衆国および他の国における Intel Corporation の登録商標です。

ソフトウェアのインストール

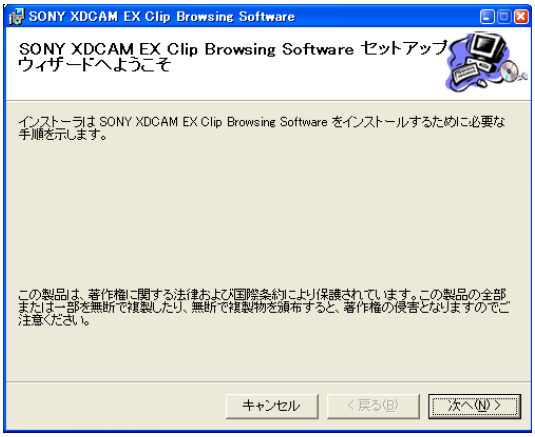
CD-ROM からインストールする場合

1 付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブに入れる。

表紙ページが自動的にブラウザに表示されます。ブラウザで表示されないときは、CD-ROM に入っている index.htm をダブルクリックしてください。

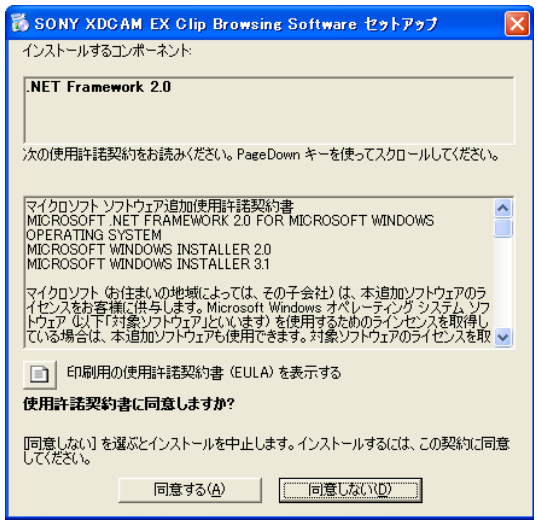
2 XDCAM EX Clip Browsing Software Installer から「Windows XP/Vista Japanese」を選択してクリックする。（本ソフトウェアでは、英語または日本語のいずれかの言語を選択できます。インストール後に言語の設定を変更することもできます（26 ページ参照）。）

セットアップウィザード画面が表示されます。



次の画面が表示されたときは

「.NET Framework 2.0」の使用許諾契約を読み、［同意する］をクリックして、「.NET Framework 2.0」をインストールする。

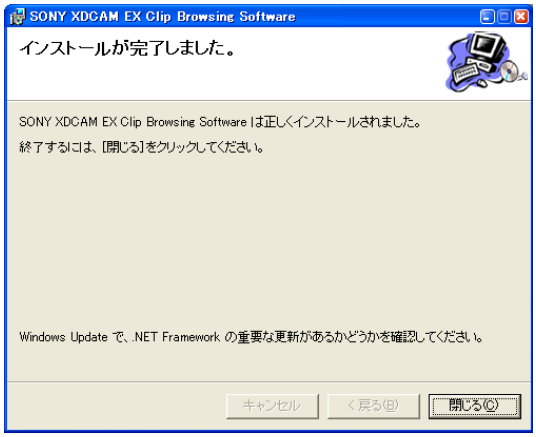


3 セットアップウィザード画面で「次へ」をクリックする。

使用許諾契約書画面が表示されます。

4 「同意する」を選択し、「次へ」をクリックする。

以降、順次表示される指示に従って、インストールを進めてください。
インストールが完了すると、次の画面が表示されます。



5 「閉じる」をクリックしてダイアログを閉じる。

アンインストールするには

Windows のコントロールパネルから「プログラムの追加と削除」を選択し、リストから「XDCAM EX Clip Browsing Software」を選択して削除してください。

起動と終了

◆ ソフトウェアをインストールする方法については、「ソフトウェアのインストール」（7ページ）をご覧ください。

ソフトウェアを起動する

デスクトップのショートカットアイコンをダブルクリックします。
XDCAM EX のバナーが表示され、ソフトウェアが起動すると操作ウィンドウ（9ページ参照）が表示されます。

ソフトウェアを終了する

次のいずれかを実行します。

- ファイルメニューで「終了」を選択する。
- 操作ウィンドウの右上隅にある×（閉じる）ボタンをクリックする。

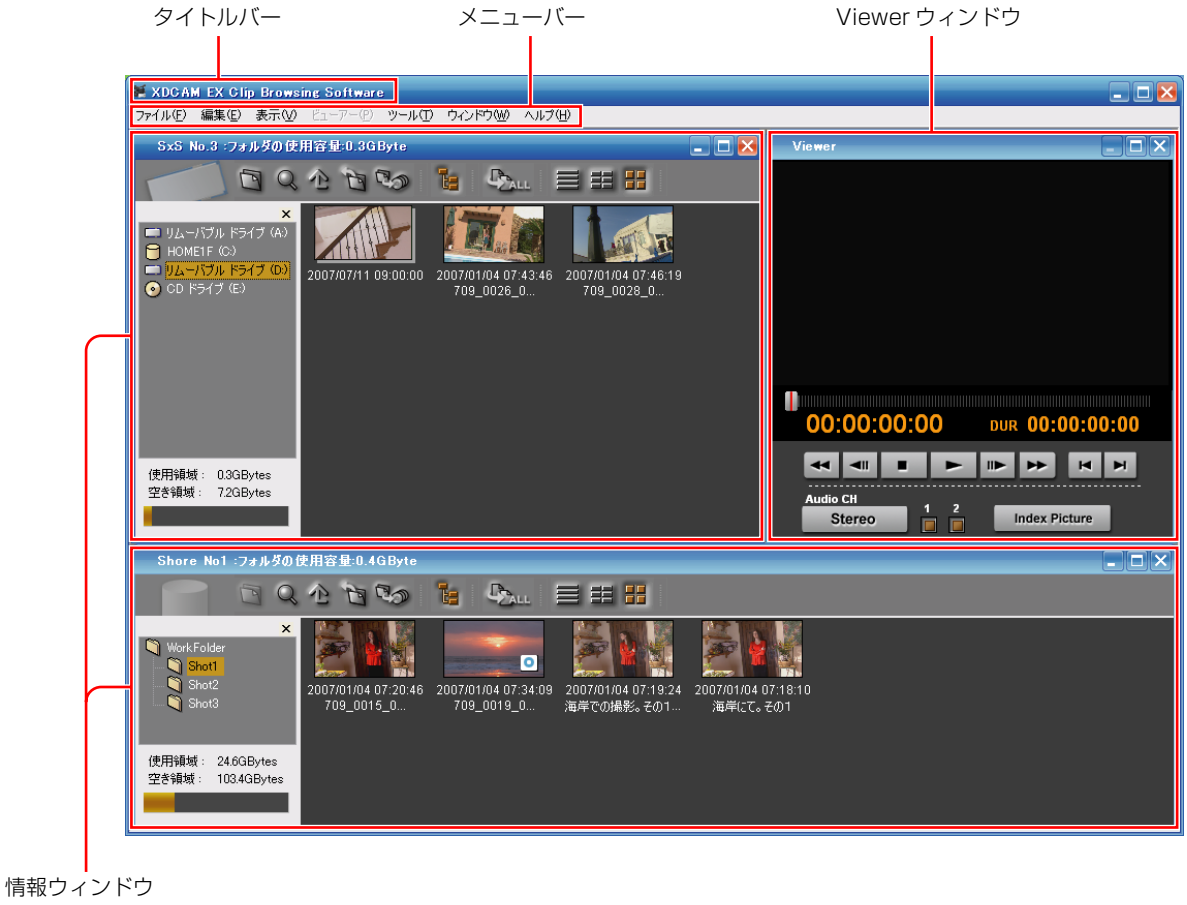
ご注意

ファイル操作が行われているときに、コンピューターの電源を切らないでください。ファイルが壊れる可能性があります。操作の終了を待つか、操作をキャンセルしてから電源を切ってください。

各部の名称と働き

操作ウィンドウの構成

初期状態では、次図に示すように構成されています。



ウィンドウ構成をカスタマイズするには

各ウィンドウに対して次の操作をすることによって、ウィンドウ構成をカスタマイズすることができます。

- ウィンドウのタイトルバーをドラッグして、ウィンドウを移動する。
- ウィンドウの任意の境界をドラッグして、ウィンドウを任意の大きさに変える。
- ウィンドウの右上隅にある□（最大化）ボタンをクリックして、ウィンドウの大きさを最大にする。
- ウィンドウの右上隅にある×（閉じる）ボタンをクリックして、使用しないウィンドウを閉じる。

ご注意

ウィンドウの大きさを変更できるのは情報ウィンドウだけです。Viewer ウィンドウの大きさは変更できません。

カスタマイズしたウィンドウ構成は記憶されるため、次回ソフトウェアを起動したときに構成が再現されます。

構成を初期状態に戻すには

ウィンドウメニューで「表示位置の初期化」を選択します。

情報ウィンドウ

このウィンドウ上で、クリップとフォルダーの各種操作を行い、クリップに付属するメタデータを参照します。

情報ウィンドウについてのご注意

- ソフトウェアの動作環境に応じて文字コードに対応するフォントを選択していないと、文字化けが生じます。あらかじめオプションダイアログで適切なフォントおよび文字コードを選択してください。
- フォントによっては、改行文字が表示されます。

◆ 詳しくは、「環境設定」（26 ページ）をご覧ください。

❶ メディア名

メディアまたはフォルダーに付けた名前が表示されます。

❷ 使用容量表示

各情報ウィンドウで選択されているメディアまたはフォルダー内のクリップおよび関連データの使用容量を表示します。

❸ ツールバー

クリップやフォルダーの操作に使用するツールボタンが配置されています。

ツールボタン		機能	参照先
アイコン	名称		
	フォルダ作成	フォルダーを新規作成する。	22 ページ
	検索	クリップを検索する。	19 ページ
	上へ	１つ上のフォルダーへ移動する。	−
	ルートフォルダ変更	ツリー表示部のルートフォルダーを変更する。	−
	フォルダ分割	フォルダーを分割する。	23 ページ
	フォルダ	ツリー表示部を隠す / 表示する。	−
	全コピー	メディアまたはフォルダー内のクリップをすべてコピーする。	24 ページ
	詳細	リスト表示部を詳細表示にする。	−
	一覧	リスト表示部を一覧表示にする。	−
	縮小版	リスト表示部をサムネイル表示にする。	−

❹ ツリー表示部

メディアとフォルダーの構成を２階層分表示します。下の階層のフォルダーをダブルクリックすると、そのフォルダーがルートフォルダーとなり、その下の階層が表示されます。

メディアをクリックしたり、フォルダーをダブルクリックすると、メディアやフォルダーに保存されているクリップが、リスト表示部に一覧表示されます。

❺ 容量表示

ツリー表示部で選択されているメディアの総容量と空き容量を表示します。

空き容量は数値とバーグラフで表示され、メディアの使用容量が増えるとオレンジのバーが長くなります。

❻ リスト表示部

ツリー表示部で選択されているメディアやフォルダーに保存されているクリップを、次の３つの方式で表示します。

サムネイル（縮小版）表示：クリップの代表画のサムネイルを表示する。代表画がない場合は、アイコンで表示される。クリップの撮影日時とタイトルも表示される。

一覧表示：クリップの種類を示すアイコン、クリップの撮影日時、およびタイトルを表示する。

詳細表示：クリップの種類を示すアイコン、タイトル、サイズ、Duration（デュレーション）、およびクリップの撮影日時を表示する。

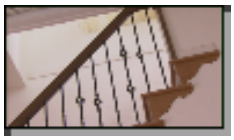
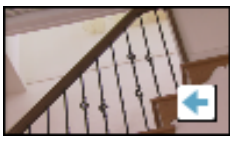
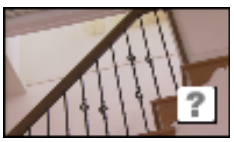
クリップの表示形式を切り換えるには

次のいずれかを実行します。

- 表示メニューで「縮小版」、「一覧」、「詳細」のいずれかを選択する。
- ツールバーで詳細ボタン、一覧ボタン、縮小版ボタンのいずれかをクリックする。

いずれの表示方式の場合も、クリップの状態を示すマークが、サムネイルまたはアイコン上に表示されます。

表示形式	アイコン	説明
一覧表示 / 詳細表示		通常のクリップ
		OK マーク付きクリップ（XDCAM EX 機器で OK マークを設定した）a)
		分割されたクリップの一部 b)
		MP4 ファイルのインポートクリップ
		MP4 ファイルの未登録クリップ（まだインポートされていないクリップ）
		異常クリップ c)

表示形式	表示例	説明
サムネイル表示		通常のクリップ
		OK マーク付きクリップ（XDCAM EX 機器で OK マークを設定した）a)
		分割されたクリップの一部（周囲に枠が表示される）b)
		MP4 ファイルのインポートクリップ
		MP4 ファイルの未登録クリップ（まだインポートされていないクリップ）
		異常クリップ c) d)

a) 本ソフトウェアでは、OK マーク付きクリップも移動または削除されます。

b) XDCAM EX 機器では、4GB を超える映像ファイルを自動的に複数のクリップとして保存します。それぞれのクリップは複数のメディアに分割して記録された一部分となり、不足している画像部分は再生されません。

c) ファイルが壊れている、ファイルの関連付けが切れている（変更されている）、必要なファイルが不足している、サムネイルが作成できないなどの原因により、本ソフトウェアで再生 / 表示できないクリップ

d) 他のアプリケーションがクリップのファイルを使用しているとき

Viewer（ビューアー）ウィンドウ

このウィンドウ上で、クリップのプレビューと代表画の変更を行います。

Viewer ウィンドウについてのご注意

このウィンドウで行う再生はプレビュー再生です。以下の点にご注意ください。

- コンピューターの性能や使用状況によっては、コマ落ちしたり、タイムコードが実際の値とずれることがあります。

- クリップが不完全な状態の場合、再生時に画像が乱れたり、フリーズすることがあります。
- 分割されたクリップの場合は、不足している画像部分は再生されません。
- XDCAM EX 機器以外で作成したクリップについては、再生できない場合があります。
- 再生画像の色が異常なときは、ソフトウェアを終了してから、コンピューターの画面の設定（プロパティ）で画面の色のパラメーターを変更してみてください。正常な色になる場合があります。
- 再生中にコンピューターの画面の設定（プロパティ）を変更すると、画像が正しく再生できなくなることがあります。その場合は、ソフトウェアを再起動してください。
- ノートタイプコンピューターなどで、コンピューター自身のモニターと外部モニターに同時に画像を表示しようとしても表示されないことがあります。

❶ スクリーン

再生画を表示します。

❷ ポジションバー

クリップ上の現在位置を示します。つまみを任意の位置にドラッグするか、またはポジションバー上の任意の場所をクリックして、その位置に移動することができます。

❸ タイムコード表示

ポジションバーの位置のタイムコードとクリップのデュレーション（DUR）の値を表示します。タイムコードが記録されていない場合は、カウンター値が表示されます。

ご注意

- 未登録クリップでは、25fps でカウンターが動作します。
- インポートクリップでは、00:00:00:00 からカウントを開始します。

❹ プレビュー操作ボタン

クリップのプレビュー操作を行うボタンです。

ボタン	機能
	再生を開始する。再生中は緑色になる。
	現在位置で動作を停止する。
	現在位置より後ろをサーチする（早送り）。
	現在位置より前をサーチする（巻き戻し）。
	クリップの最終フレームへ移動する。
	クリップの先頭フレームへ移動する。
	1 フレーム戻る。
	1 フレーム進む。

❺ Audio CH（オーディオチャンネル）選択部

Stereo（ステレオ）/Monaural（モノラル）ボタンをクリックして、オーディオをステレオにするかモノラルにするかを選択します。モノラルを選択したときは、1 または 2 のボタンをクリックして、オーディオチャンネルを選択します。

❻ Index Picture（代表画）ボタン

クリックすると、現在プレビューしているクリップの代表画を、現在表示しているフレームの静止画に変更します。

作業対象メディア / フォルダーの選択

操作するクリップが保存されているメディア、またはメディア内のフォルダーの選択のしかたについて説明します。選択操作には、情報ウィンドウのツリー表示部で指定する方法とルートフォルダ変更ダイアログで指定する方法があります。

メディアとは

本書では、次の記録媒体をメディアと呼びます。

- SxS メモリーカード
- USB メモリー
- コンピューターに内蔵されているハードディスク
- 外付けハードディスク
- CD-R
- DVD-R
- Blu-ray Disc

ツリー表示部で選択するには

1 情報ウィンドウのツリー表示部で、メディアまたはフォルダーをダブルクリックする。

ダブルクリックしたメディアまたはフォルダーの下の階層が表示されます。ツリー表示部では、メディアおよびフォルダーの構成が 2 階層ずつ表示されます。メディア内に直接クリップが保存されている場合は、内容がリスト表示部に表示されます。

2 下の階層のフォルダーをダブルクリックする。

ダブルクリックしたフォルダーがルートフォルダーとなり、1 つ下の階層が表示されます。

1 つ上の階層に戻るには

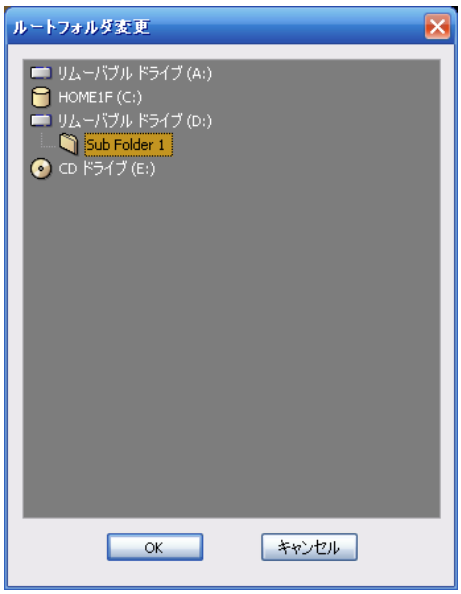
表示メニューで「上へ」を選択するか、ツールバーで上へボタンをクリックします。

3 必要に応じて手順 **2** を繰り返す。

選択したフォルダーの内容がリスト表示部に表示されます。

ルートフォルダ変更ダイアログで選択するには

1 表示メニューで「ルートフォルダ変更」を選択するか、ツールバーでルートフォルダ変更ボタンをクリックしてルートフォルダ変更ダイアログを開く。



2 ダイアログ内のツリー表示で、メディアまたはフォルダーを選択する。

3 「OK」をクリックする。

ルートフォルダ変更ダイアログが閉じ、選択したメディアまたはフォルダーの内容がリスト表示部に表示されます。

選択したメディアやフォルダーにクリップが存在しないときは

リスト表示部がサムネイル表示になっているときは何も表示されません。一覧表示または詳細表示になっているときは、「表示する Clip がありません」というメッセージが表示されます。

ご注意

- メディアまたはフォルダーを選択すると、通常はメディアの画像がツールバーに表示されますが、メディアの種類によってはハードディスクの画像が表示されることがあります。
- メディアを選択したときに、「サルベージが必要です」や「記録を行った装置にて復旧処理を行ってください」のメッセージが表示されることがあります。この場合、記録中に XDCAM EX 機器の電源を切ったり、記録メディアを抜いたことにより、メディアのデータが不完全な状

態になっています。メディアを XDCAM EX 機器に戻して直ちにデータを復旧させてください。データを復旧させないまま操作を続けると、データが復旧できなくなります。

クリップの操作

クリップ操作に関するご注意

処理の実行中は、必ず次の事項をお守りください。

- コンピューターおよびメディアドライブの電源を切らないでください。
- 対象となるフォルダーをエクスプローラなどで削除しないでください。
- 対象となるメディアを取り出したり、抜いたりしないでください。

クリップをコピーする

メディア内またはコンピューター上でクリップを複製したり、メディアとコンピューター間でクリップをコピーすることができます。

複数のメディアに分割して記録されたクリップを 1 か所に集めると

XDCAM EX 機器では、4GB を超える映像ファイルを自動的に複数のクリップとして保存します。これらの分割されたクリップを 1 つのメディア / フォルダーに集めると、自動的に連結されて 1 つのクリップとして扱うことができます。

◆ 詳しくは、「分割されたクリップを連結する」（16 ページ）をご覧ください。

1 「作業対象メディア / フォルダーの選択」（13 ページ）を参照し、いずれか一方の情報ウィンドウにコピーするクリップを表示する。

2 もう一方の情報ウィンドウでクリップのコピー先となるメディアまたはフォルダーを選択する。

新規のフォルダーにコピーしたいときは

コピー先となるメディアやフォルダー内に新規フォルダーを作成しておきます。

◆ 操作については、「フォルダーを作成する」（22 ページ）をご覧ください。

3 コピー元の操作ウィンドウで、コピーしたいクリップをクリックして選択する。

複数のクリップを選択するには

Ctrl キーを押したままクリップを順にクリックします。

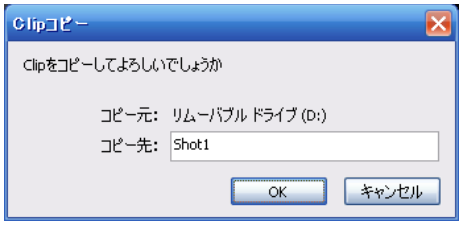
ご注意

未登録のクリップや、異常クリップを選択してもコピーできません。

4 次のいずれかの操作を行う。

- コピーしたいクリップを、コピー先のメディア / フォルダーの内容が表示された情報ウィンドウ上にドラッグし、リスト表示部内にドロップする。
- 編集メニューで「コピー」を選択し、コピー先のメディア / フォルダーの内容が表示された情報ウィンドウをクリックしてから編集メニューで「貼り付け」を選択する。

コピーを実行するかどうかを確認するメッセージが表示されます。



5 コピー元とコピー先の表示を確認して、コピーを実行する場合は「OK」をクリックする。コピーを中止する場合は「キャンセル」をクリックする。

コピー先を変更するには

「コピー先:」ボックスをクリックして反転表示にし、コピー先に指定したいフォルダー名を入力します。

コピーを開始すると、コピーの進捗状況を示すダイアログが表示されます。

ご注意

いったんコピーが完了したら操作を取り消す（アンドゥを実行する）ことはできません。

コピーを中断するには

ダイアログ上の「キャンセル」をクリックします。

コピーが実行できないときは

以下に示す状況では、コピーが実行されず、メッセージが表示されます。

- コピー先の容量が不足している。
- コピー先に同じクリップがすでに存在する。タイトルが異なっていても、画像に付けられたID（UMID）が同じであれば、同じクリップと認識されます。
- コピー先のメディア/フォルダーに対する削除や書き込みの権限がない。
- コピー先のメディア / フォルダーが書き込み禁止になっている。

クリップを移動する

メディア内またはコンピューター上でクリップを移動したり、メディアとコンピューター間でクリップを移動することができます。

ご注意

本ソフトウェアでは、OKマーク付きクリップも移動されます。

複数のメディアに分割して記録されたクリップを 1 か所に集めると

XDCAM EX 機器では、4GB を超える映像ファイルを自動的に複数のクリップとして保存します。これらの分割されたクリップを1つのメディア / フォルダーに集めると、自動的に連結されて1つのクリップとして扱うことができます。

◆ 詳しくは、「分割されたクリップを連結する」（16 ページ）をご覧ください。

1 「作業対象メディア / フォルダーの選択」（13 ページ）を参照し、いずれか一方の情報ウィンドウに移動するクリップを表示する。

2 もう一方の情報ウィンドウでクリップの移動先となるメディアまたはフォルダーを選択する。

新規のフォルダーに移動したいときは

移動先となるメディアや移動先のフォルダー内に新規フォルダーを作成しておきます。

◆ 操作については、「フォルダーを作成する」（22 ページ）をご覧ください。

3 移動元の情報ウィンドウで、移動したいクリップをクリックして選択する。

複数のクリップを選択するには

Ctrl キーを押したままクリップを順にクリックします。

ご注意

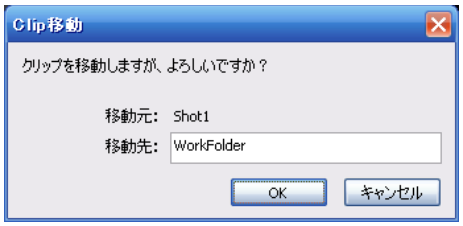
未登録のクリップや、異常クリップを選択しても移動できません。

4 次のいずれかの操作を行う。

- 移動したいクリップを、移動先のメディア / フォルダーの内容が表示された情報ウィンドウ上に、Ctrl

キーを押したままドラッグし、リスト表示部内にドロップする。
- 編集メニューで「カット」を選択し、移動先のメディア / フォルダーの内容が表示された情報ウィンドウをクリックしてから編集メニューで「貼り付け」を選択する。

移動を実行するかどうかを確認するメッセージが表示されます。



5 移動元と移動先の表示を確認して、移動を実行する場合は「OK」をクリックする。移動を中止する場合は「キャンセル」をクリックする。

移動先を変更するには
「移動先:」ボックスをクリックして反転表示にし、移動先に指定したいフォルダーの名前を入力します。

移動を開始すると、移動の進捗状況を示すダイアログが表示されます。

ご注意

- いったん移動が完了したら操作を取り消す（アンドゥを実行する）ことはできません。
- 移動中に本ソフトウェアを終了しないようにしてください。本ソフトウェアが終了すると、クリップと付加情報（メタデータ）との関連性が失われる可能性があります。また、分割クリップの連結情報が失われたり、異常クリップになる可能性があります。重要なクリップの場合は、コピーしてからコピー元を削除する方法で移動することをおすすめします。

移動を中断するには
ダイアログ上の「キャンセル」をクリックします。

移動が実行できないときは
以下に示す状況では、移動が実行されず、メッセージが表示されます。
- 移動先の容量が不足している。
- 移動先に同じクリップがすでに存在する。タイトルが異なっていても、画像に付けられた ID（UMID）が同じであれば、同じクリップと認識されます。
- 移動するクリップが保存されているメディア / フォルダーまたは移動先のメディア / フォルダーに対する削除や書き込みの権限がない。
- 移動するクリップが保存されているメディア / フォルダーまたは移動先のメディア / フォルダーが書き込み禁止になっている。

クリップを削除する

ご注意

本ソフトウェアでは、OK マーク付きクリップも削除されます。

1 「作業対象メディア / フォルダーの選択」（13 ページ）を参照して、削除するクリップを表示する。

2 削除したいクリップをクリックして選択する。

複数のクリップを選択するには
Ctrl キーを押したままクリップを順にクリックします。

3 次のいずれかの操作を行う。

- Delete キーを押す。
- 編集メニューで「削除」を選択する。

削除を実行するかどうかを確認するメッセージが表示されます。

4 削除を実行する場合は「OK」をクリックする。削除を中止する場合は「キャンセル」をクリックする。

ご注意

いったん削除が完了したら操作を取り消す（アンドゥを実行する）ことはできません。

削除が実行できないときは
以下に示す状況では、削除が実行されず、メッセージが表示されます。
- 削除するクリップが保存されているメディア / フォルダーに対する削除や書き込みの権限がない。
- 削除するクリップが保存されているメディア / フォルダーが書き込み禁止になっている。

分割されたクリップを連結する

長時間にわたる撮影 / 記録のために複数のメディアに分割して記録されたクリップを、コピー、移動、またはフォルダー結合によって仮想的に連結することができます。連結したクリップは、1 つのクリップとして利用できます。

◆ それぞれの操作について詳しくは、「クリップをコピーする」（14 ページ）、「クリップを移動する」（15 ページ）、「フォルダーを結合する」（24 ページ）をご覧ください。

ご注意

- 時間軸上で連続していない分割クリップは連結されません。
- 未登録クリップや異常クリップは連結されません。
- 連結の関連付けはファイル名ではなく UMID を参照して行われます。UMID が書き変えられているクリップは連結されません。

クリップをインポートする

MP4 ファイル（未登録クリップ）をインポートして、XDCAM EX 機器で取り扱うことのできるクリップとして登録することができます。

1 「作業対象メディア / フォルダーの選択」（13 ページ）を参照して、インポートする MP4 ファイルの保存されているメディアまたはフォルダーを選択する。

2 次のいずれかの操作を行う。

リスト表示部で未登録クリップを指定する場合

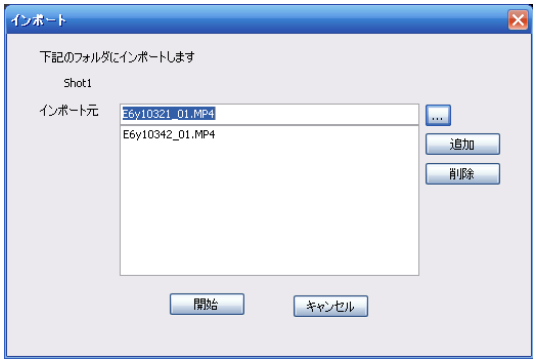
未登録クリップを選択し、ファイルメニューで「インポート」を選択する。

選択したクリップがインポートリストに追加された状態で、インポートダイアログが表示されます。
手順 **6** に進んでください。

リスト表示部で未登録クリップを指定しない場合

ファイルメニューで「インポート」を選択する。

インポートダイアログが表示されます。
手順 **3** に進んでください。



3 「...」をクリックしてフォルダの参照ウィンドウを開き、インポートする MP4 ファイルを指定する。

指定したファイルが「インポート元」エディットボックスに表示されます。

ご注意

4GB 以上のファイルを選択すると、インポートできません。

4 「追加」をクリックして、ファイルをリストに追加する。

5 手順 **3**、**4** を繰り返して、インポートするファイルをすべてリストに表示する。

リストからファイルを削除するには

削除したいファイルを選択して、「削除」をクリックします。

6 「開始」をクリックして、インポートを開始する。

インポートが完了すると、未登録クリップが通常のクリップに変換されます。
インポートクリップには、マークが表示されます。

インポートが実行できないときは

以下に示す状況では、インポートが実行されず、メッセージが表示されます。

- インポート先のメディア / フォルダーに対する削除や書き込みの権限がない。
- インポート先のメディア / フォルダーが書き込み禁止になっている。

ご注意

- インポートされたクリップのプロパティは自動で設定されます。
- インポートされたクリップのタイムコードは 00:00:00:00 から開始されます。
- XDCAM EX フォーマットとの互換性が取れないため、XDCAM EX 機器で再生できないこともあります。

クリップをエクスポートする

XDCAM EX 機器で作成されたクリップを、他の XDCAM HD 機器で使用可能な MXF フォーマットに変換してエクスポートすることができます。

ご注意

Windows Vista では、システムドライブの直下（C:¥ など）にクリップをエクスポートすることはできません。

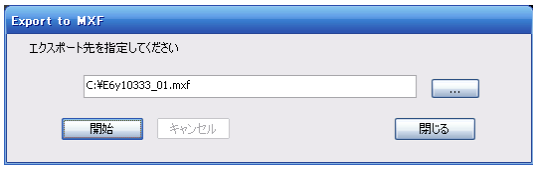
1 「作業対象メディア / フォルダーの選択」（13 ページ）を参照して、エクスポートするクリップを表示する。

2 エクスポートしたいクリップをクリックして選択する。

複数のクリップを選択するには
Ctrl キーを押したままクリップを順にクリックします。

3 ファイルメニューで「エクスポート」、「MXF」を順に選択する。

Expot to MXF ダイアログが表示されます。現在選択しているドライブまたは開いているフォルダーの名前と作成されるクリップの名前がパスとして表示されます。（クリップの名前は自動設定されます。）



エクスポート先のフォルダーやクリップの名前を変更するには
エディットボックスをクリックしてパス表示を反転表示にし、希望のフォルダー名とファイル名を入力します。「...」をクリックしてフォルダの参照ウィンドウを開き、エクスポート先のフォルダーを選択することもできます。手順 **2** で複数のクリップを選択したときは、フォルダー名を指定します。

4 「開始」をクリックして、エクスポートを開始する。

エクスポートを中断するには
「キャンセル」をクリックし、「閉じる」をクリックしてダイアログを閉じます。
複数のクリップを選択している場合、「キャンセル」をクリックするより前にエクスポートが完了したクリップは、エクスポート先のメディア / フォルダーから削除されません。

エクスポートが完了すると、ダイアログが閉じ、エクスポート先のメディア / フォルダーの内容が自動的に表示されます。

エクスポートが実行できないときは
以下に示す状況では、エクスポートが実行されず、メッセージが表示されます。
- エクスポート先のメディア / フォルダーに対する削除や書き込みの権限がない。
- エクスポート先のメディア / フォルダーが書き込み禁止になっている。
- 元クリップの映像フォーマット（ビットレートや解像度など）が変換不可

クリップの内容をプレビューする

Viewer ウィンドウのスクリーンでクリップの内容をプレビューすることができます。

◆ Viewer ウィンドウにはいくつかの制約事項があります。詳しくは、「Viewer ウィンドウについてのご注意」（11 ページ）をご覧ください。

Viewer ウィンドウにクリップを表示するには

いずれかの情報ウィンドウのリスト表示部にプレビューしたいクリップを表示し、ダブルクリックします。
Viewer ウィンドウ上でクリップの再生が始まります。
再生を停止するには停止ボタンをクリックします。
スクリーンの下に、クリップの現在位置のタイムコード（またはカウンター値）と、クリップのデュレーション（DUR）が表示されます。

ご注意

DVD-R や CD-R に保存されているクリップをプレビューすると、滑らかに再生されません。

プレビューの操作をするには

次のいずれかの方法により、Viewer ウィンドウ上に表示されたクリップに対して再生、サーチなどの操作を行うことができます。
- Viewer ウィンドウ上のプレビュー操作ボタン（12 ページ参照）をクリックする。
- ビューアーメニューで「再生制御」を選択し、実行したい操作項目を選択する。
- ポジションバーをドラッグする。

スクリーンを全画面表示にするには
スクリーンにクリップを表示した状態で、Viewer ウィンドウのタイトルバーをダブルクリックするか、ビューアーメニューの「表示」、「全画面」を順に選択します。
スクリーンを元のサイズに戻すには、スクリーン上をダブルクリックするか、Esc キーを押します。

プレビュー時のオーディオを選択するには
Stereo（ステレオ）/Monaural（モノラル）ボタンをクリックして、オーディオをステレオにするかモノラルにするかを選択できます。モノラルを選択したときは、1 または 2 のボタンをクリックして、オーディオチャンネルを選択します。

クリップの代表画を変更する

クリップのプレビュー中に、クリップの代表画を変更することができます。

1 クリップを再生して、代表画に設定したいフレームを表示する。

2 Index Picture ボタンをクリックするか、ビューアーメニューで「編集」、「代表画」を順に選択する。

現在表示しているフレームが、プレビューしているクリップの代表画になります。

ご注意

- メディアに保存されたクリップをプレビューしている場合は、操作中にメディアを取り出さないでください。
- 操作中に電源が切れないよう注意してください。
- 代表画を変更したクリップをXDCAM EX機器で使用すると、指定した代表画の近傍フレームが代表画になることがあります。
- 早送り、巻き戻し中に操作を行うと、指定したい位置のフレームが代表画にならない場合があります。

クリップを検索する

プレビューするクリップが見つからないときに、クリップのタイトルやコメント、クリップの撮影日時に基づいて、クリップを絞り込むことができます。

1 次のいずれかの操作を行う。

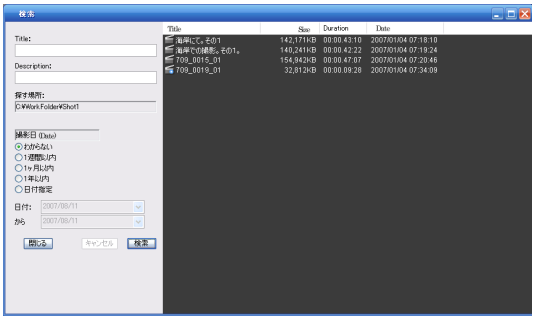
- 操作ウィンドウのツリー表示部で、検索したいクリップが存在しているドライブまたはフォルダーを選択する。
- 表示メニューで「ルートフォルダ変更」を選択するか、ツールバーでルートフォルダ変更ボタンをクリックしてルートフォルダ変更ウィンドウを開き、検索したいクリップが存在しているメディアまたはフォルダーを選択する。

メディアまたは選択したフォルダーに保存されているクリップやフォルダーが、リスト表示部に一覧表示されます。

2 次のいずれかの操作を行う。

- 表示メニューで「検索」を選択する。
- ツールバーで検索ボタンをクリックする。

検索ダイアログが表示されます。「探す場所」のボックスには、現在選択しているフォルダーのパスが表示されます。



3 クリップの検索条件を、次の中から最低1つ指定する。

- 「Title（タイトル）」のボックスに、タイトルの一部または全体を入力する。
- 「Description（コメント）」のボックスに、コメントの一部または全体を入力する。
- 「撮影日」のボタンとリストボックスを使って、クリップが撮影された日時を指定する。

4 「検索」をクリックする。

手順 **3** で指定した条件に該当するクリップが、検索ダイアログ内に一覧表示されます。
プレビューしたいクリップをダブルクリックすると、クリップが Viewer ウィンドウに表示され、再生が始まります。
また、操作ウィンドウのツリー表示部では、プレビューしているクリップが保存されているフォルダーがリスト表示部に表示されます。

ご注意

検索実行中は、必ず次の事項をお守りください。
- 対象となるフォルダーを削除しないでください。
- 対象となるメディアを取り出したり、抜いたりしないでください。

クリップの情報を参照する

クリップのプロパティウィンドウを表示して、クリップの情報を参照することができます。

ご注意

- ソフトウェアの動作環境に応じて文字コードに対応するフォントを選択していないと、文字化けが生じます。あ

らかじめオプションダイアログで適切なフォントおよび文字コードを選択してください。

- フォントによっては、改行文字が表示されます。

◆ 詳しくは、「環境設定」（26 ページ）をご覧ください。

プロパティウィンドウを表示するには

1 「作業対象メディア / フォルダーの選択」（13 ページ）を参照して、情報を参照するクリップを表示する。

2 情報を参照したいクリップをクリックして選択する。

3 編集メニューで「プロパティ」を選択する。

プロパティウィンドウが表示されます。

プロパティウィンドウに表示される情報

次表に示す情報が表示されます。Title1、Title2、
Description の内容を変更することができます。

項目	内容
Title1（タイトル）	リスト表示部に、クリップのタイトルとして表示される。（Title2 が設定されているときは Title2 が表示される。） 英数字および記号を 63 文字まで入力可能（改行不可）。 使用可能な記号：スペース、−、+、#
Title2（サブタイトル）	リスト表示部に、クリップのタイトルとして表示される。 127 バイトまでの範囲で入力可能（マルチランゲージ対応）。 英数字で 127 文字、マルチランゲージの場合 UTF-8 を使用する（通常は 1 文字で 1 ～ 3 バイト使用）。
Description（コメント）	任意のコメントを 2047 バイトまでの範囲で入力可能（マルチランゲージ対応）。 英数字で 2047 文字、マルチランゲージの場合 UTF-8 を使用する（通常は 1 文字で 1 ～ 3 バイト使用）。
Creator（作成者）	クリップの作成者の情報 127 バイトまでの範囲で入力可能（マルチランゲージ対応）。 英数字で 127 文字、マルチランゲージの場合 UTF-8 を使用する（通常は 1 文字で 1 ～ 3 バイト使用）。
Status（ステータス）	クリップに OK マークが付いている場合は、「OK」が表示される。OK マークが付いていない場合は何も表示されない。
Date（作成日時）	クリップの作成日時
Last Update（最終更新日）	クリップの最終更新日 クリップのコピーや移動、連結を行ったり、タイトルやコメント、代表画を変更した場合も更新される。
Recording Mode（記録モード）	クリップを作成したときの XDCAM EX 機器の動作モード **Normal**：通常記録 **Interval Rec**：インターバルレック **Frame Rec**：フレームレック **Slow&QuickMotion**：スローアンドクイックモーション ◆各モードについて詳しくは、XDCAM EX 機器の取扱説明書をご覧ください。
Duration（デュレーション）	クリップ長を時：分：秒：フレームで表示
Video Format（ビデオフォーマット）	ビデオの記録フォーマットの詳細情報
Audio Format（オーディオフォーマット）	オーディオの記録フォーマットの詳細情報
Media Spanning（メディアの分割）	分割されたクリップの場合は「Yes」、分割されていない場合は「No」を表示
Device（デバイス）	記録機の情報

表示内容を変更したときは

「OK」をクリックして変更内容を保存します。
変更内容を破棄するときは、「キャンセル」をクリックします。

フォルダー / メディアの操作

フォルダー / メディア操作に関するご注意

処理の実行中は、必ず次の事項をお守りください。

- コンピューターおよびメディアドライブの電源を切らないでください。
- 対象となるメディアを取り出したり、抜いたりしないでください。

XDCAM EX 機器用クリップのフォルダーについて

XDCAM EX 機器で使用できるクリップが保存されているフォルダーには、BPAV フォルダー（25 ページ参照）が存在します。（情報ウィンドウには表示されませんが、エクスプローラで見ることができます。）
本ソフトウェアでは、クリップをコピーしたり、移動するときは、BPAV フォルダーも一緒にコピーまたは移動します。BPAV フォルダーと切り離してクリップだけを操作することはできません。

ご注意

ネットワーク機能を使用して、複数のコンピューターから同時に同じフォルダーを操作すると、ファイルがアクセス不能になることがあります。

フォルダーを作成する

1 「作業対象メディア / フォルダーの選択」（13 ページ）を参照して、フォルダーを作成したいメディアまたはフォルダーを選択する（ツリー表示部でルートフォルダーにする）。

2 ルートフォルダーにフォーカスがある状態で、ファイルメニューから「フォルダ作成」を選択するか、ツールバーでフォルダ作成ボタンをクリックする。

手順 **1** で選択したメディアまたはフォルダー内に、新規フォルダーが作成されます。

フォルダーが作成できないときは

以下に示す状況では、フォルダーは作成されず、メッセージが表示されます。

- 手順 **1** で選択したメディア / フォルダーに対する書き込みの権限がない。
- 手順 **1** で選択したメディア / フォルダーが書き込み禁止になっている。

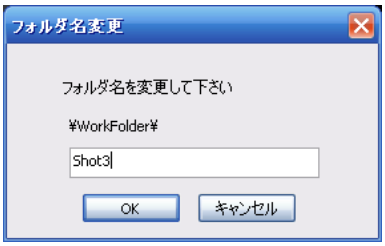
ご注意

- 「マイコンピューター」をルートフォルダーにしてフォルダーを作成することはできません。
- コンピューターのファイルシステム上、書き込みができないファイルシステムでは、フォルダーを作成することはできません。
- フォルダーの作成直後は通常のフォルダーと同じですが、クリップのコピーや移動などを 1 度でも行うと、自動的に XDCAM EX 機器用のワークフォルダーにフォーマットされます。（必要なフォルダーやメタデータファイルが自動的に作成されます。）
- 「BPAV」という名前を指定することはできません。
- OS で使用が禁止されている文字および「$」は使用できません。

フォルダー名を変更するには

1 作成したフォルダーを選択し、ファイルメニューで「フォルダ名変更」を選択します。

フォルダ名変更ダイアログが表示されます。



2 エディットボックスに希望のフォルダー名を入力する（英数字と記号で 80 文字まで入力可能）。

ご注意

- 「BPAV」という名前を指定することはできません。
- OS で使用が禁止されている文字および「$」は使用できません。

3 「OK」をクリックする。

フォルダーのバックアップを作成するには

1 「作業対象メディア / フォルダーの選択」（13 ページ）を参照して、バックアップを作成したいフォルダーを選択する。

2 ファイルメニューで「保存フォルダを開く」を選択する。

エクスプローラが表示されます。

3 エクスプローラでバックアップ作成の操作を行う。

フォルダーの容量が大きいため、1 つのメディア / フォルダーに保存できないときは

フォルダーを分割することにより、複数のディスクに分けてバックアップを作成することができます。分割されたフォルダーは再結合して元に戻すことができます。

◆ 詳しくは、「フォルダーを分割する」（23 ページ）および「フォルダーを結合する」（24 ページ）をご覧ください。

フォルダーを削除する

1 「作業対象メディア / フォルダーの選択」（13 ページ）を参照して、削除したいフォルダーを選択する。

2 Delete キーを押すか、編集メニューで「削除」を選択する。

フォルダーを削除できないときは

以下に示す状況では、削除が実行されず、メッセージが表示されます。

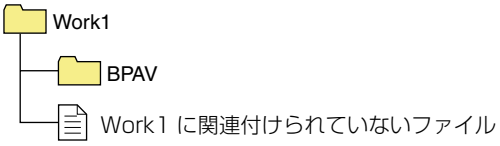
- 選択したフォルダーに対する削除や書き込みの権限がない。
- 選択したフォルダーが書き込み禁止になっている。
- 選択したフォルダーの直下に、クリップや他のフォルダーが存在する。[1)]

ご注意

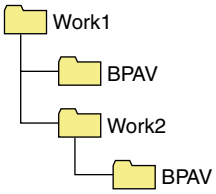
- フォルダーを削除すると、フォルダー内の全データが削除されますので注意してください。
- いったん削除が完了したら操作を取り消す（アンドゥを実行する）ことはできません。

1) 対象フォルダー（Work1）を削除できない例を以下に示します。

Work1 に関連付けられていないファイルなどがあるとき



他のワークフォルダー（Work2）などがあるとき



Work1 フォルダーを削除するには、あらかじめ Work1 に関連付けられていないファイルや Work2 フォルダーを削除する必要があります。

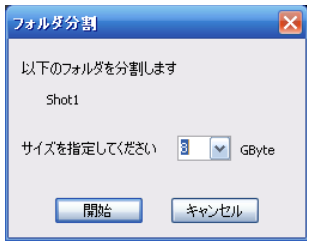
フォルダーを分割する

フォルダーを分割してクリップを分散させて保存することにより、各フォルダーの記録容量を小さくすることができます。フォルダー内の全データを、フォルダーよりも小さい容量のメディアにバックアップする場合に使用します。たとえば、8GB のフォルダーを 4GB の DVD-R メディアにバックアップする場合、4GB のフォルダー 2 つに分割します。フォルダーを分割しても個々のファイルは分割されません。

1 「作業対象メディア / フォルダーの選択」（13 ページ）を参照して、分割したいフォルダーを選択する。

2 編集メニューで「フォルダ分割」を選択するか、ツールバーでフォルダ分割作成ボタンをクリックする。

フォルダ分割ダイアログが表示されます。



ご注意

フォルダーを分割しても個々のファイルは分割されません。分割後のフォルダーが指定した容量になるように、クリップが振り分けられます。したがって、フォルダー内にある一番大きなファイルサイズ以下のフォルダーサイズを指定することはできません。また、4GB 未満のサイズも指定できません。

3 分割後のフォルダーの容量を、ドロップダウンリストで指定する。

4 「開始」をクリックする。

指定したフォルダーの容量に応じて、分割数が最小となるようにフォルダーが分割され、クリップが各フォ

ルダーに振り分けられます。分割の結果生成されたフォルダーには、元のフォルダー名に通し番号が付加された名前が自動的に設定されます。

ご注意

- いったん分割を開始したら中断（キャンセル）することはできません。
- ファイル分割されているクリップは、それぞれ別のフォルダーに振り分けられることがあります。ファイル分割されているクリップの振り分け先を変更する場合は、フォルダー分割後に手動でクリップを移動してください。

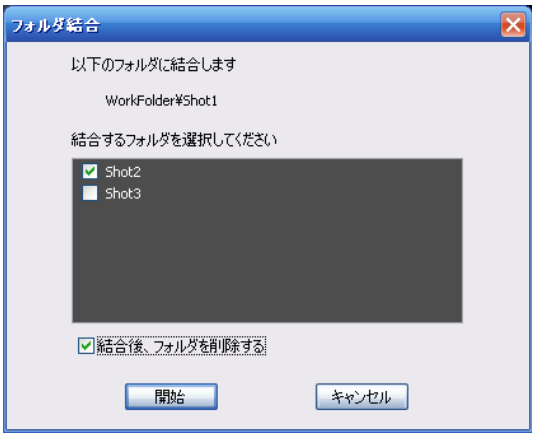
フォルダーを結合する

指定したフォルダーに他のフォルダーを結合することができます。分割したフォルダーを元に戻すための機能です。

1 「作業対象メディア / フォルダーの選択」（13 ページ）を参照して、結合したいフォルダーを選択する。

2 編集メニューで「フォルダ結合」を選択する。

フォルダ結合ダイログが表示されます。



3 手順**1**で指定したフォルダーに結合したいフォルダーのチェックボックスをオンにする。フォルダーの結合後、元のフォルダーを削除する場合は、「結合後、フォルダを削除する」チェックボックスをオンにする。

ご注意

次の場合、フォルダーは削除されません。

- 結合するフォルダー内に別のフォルダーがあるとき
- フォルダーに削除や書き込みの権限がないとき
- フォルダーが書き込み禁止になっているとき

4 「開始」をクリックする。

手順 **1** で指定したフォルダーに手順 **3** で指定したフォルダーが結合され、フォルダー内のクリップが結合先に集められます。ファイル分割されていたクリップは自動的に連結し、1 つのクリップとして利用できます。

フォルダーが結合されないときは

以下に示す状況では、フォルダーは結合されず、メッセージが表示されます。

- 結合先フォルダーの容量が不足している。
- 結合元または結合先フォルダーに対する書き込みの権限がない。
- 結合元または結合先フォルダーが書き込み禁止になっている。
- 同じクリップが複数存在する。

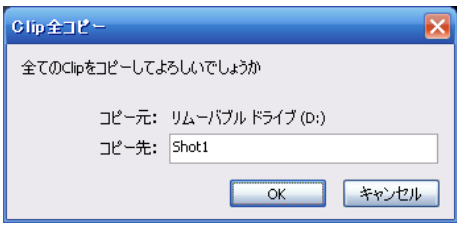
メディアやフォルダー内のクリップをまとめてコピーする

1 「作業対象メディア / フォルダーの選択」（13 ページ）を参照し、いずれか一方の情報ウィンドウでコピー元のメディアまたはフォルダーを選択する。

2 もう一方の情報ウィンドウでコピー先となるメディアまたはフォルダーを選択する。

3 コピー元の情報ウィンドウをアクティブにして、編集メニューで「全コピー」を選択するか、ツールバーで全コピーボタンをクリックする。

Clip 全コピーダイログが表示されます。



4 コピー元とコピー先の表示を確認して、コピーを実行する場合は「OK」をクリックする。コピーを中止する場合は「キャンセル」をクリックする。

コピー先を変更するには

「コピー先:」ボックスをクリックして反転表示にし、コピー先に指定したいフォルダー名を入力します。

コピーを開始すると、コピーの進捗状況を示すダイアログが表示されます。

コピーを中断するには

ダイアログ上の「キャンセル」をクリックします。

コピーが実行できないときは

以下に示す状況では、コピーが実行されず、メッセージが表示されます。

- コピー先の容量が不足している。
- コピー先に同じクリップがすでに存在する。タイトルが異なっていても、画像に付けられたID（UMID）が同じであれば、同じクリップと認識されます。
- コピーするクリップが保存されているメディア/フォルダーまたはコピー先のメディア/フォルダーに対する削除や書き込みの権限がない。

付録

使用上のご注意

記録フォーマット

本ソフトウェアでは、XDCAM EX機器用に規定されたフォーマットのみを使用することができます。このフォーマットの仕様は次のとおりです。

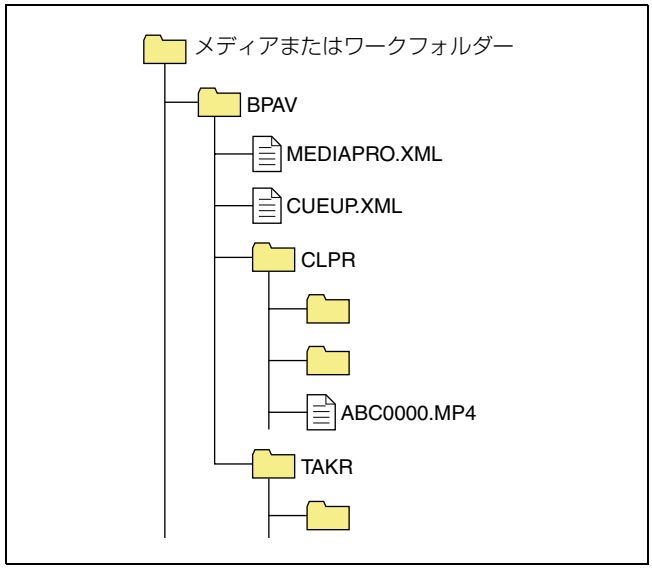
- フォルダーの名前と構成は、次項の図のように決められている。
- ファイルには各ファイルやフォルダー間のリンクに関する情報が記録されている。

ご注意

XDCAM EXフォーマットに対応していないツールなどを使用して、ファイルを編集したり、ファイルやフォルダーに対して削除、移動、名前の変更などの操作をしたりしないでください。このフォーマットの仕様に従わないファイルは、XDCAM EX機器や本ソフトウェアで認識できなくなります。

記録フォルダー

映像や付加情報を記録するフォルダーは、次図のような階層構造になっています。
XDCAM EXフォーマットでは、BPAVフォルダー以下を1つのまとまりとして扱います。



- ワークフォルダーをエクスプローラで開くと、BPAVフォルダーが1つだけ存在します。
- コピーやバックアップを行うときは、BPAVフォルダー以下を選択してください。

- 本ソフトウェアのツリー表示部でワークフォルダーを選択すると、BPAV フォルダーに登録されたクリップの一覧がリスト表示部に表示されます。AV データは CLPR フォルダーの下のフォルダー内に存在します。
- XDCAM EX 機器で使用するメディアは、メディアのルートフォルダーの下に BPAV フォルダーを作成します。
- MP4 ファイルを CLPR フォルダーの下にコピーしておくと、CLPR フォルダーの属する BPAV フォルダーをサムネイルまたは一覧表示したとき、リスト表示部に未登録の MP4 クリップ表示が現れます。
- CLPR フォルダーの下にある MP4 ファイルの未登録クリップをインポートすると、CLPR フォルダーの下に新たにフォルダーが作成され、そのフォルダー内に MP4 ファイルが移動します。
- 他のフォルダーから MP4 ファイルの未登録クリップをインポートすると、CLPR フォルダーの下に新たにフォルダーが作成され、そこにインポートされたクリップがコピーされます。フォルダー名は自動的に付けられます。
- 1 つの記録フォルダー内には最大で 600 個のクリップが登録できます。

ご注意

フォルダー名やファイル名はメタデータファイルと連携しているため、変更しないでください。

環境設定

オプションダイアログで、本ソフトウェアに関する環境設定を行います。
オプションダイアログを開くには、ツールメニューで「オプション」、「管理」を順に選択します。

Date Format：日付の表示形式を選択します。YYYY は西暦、MM は月、DD は日を表しています。
さらに Pause Character リストボックスで年月日の区切り記号を指定することができます。リストボックスの下には、選択されている形式が現在の日付で表示されます。

Multi Language：Font ボタンをクリックしてフォント設定ダイアログを開き、タイトルやコメントの表示フォントおよび文字コードを設定します。

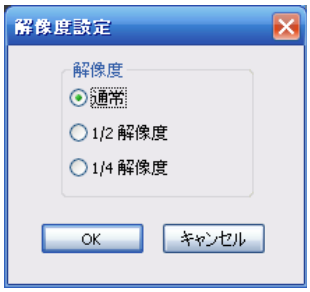
Display Language：本ソフトウェアの表示言語（English または Japanese）を選択します。

ご注意

Windows の日本語版では、OS のバージョンによって、使用している文字セットが異なります（Vista は JIS2004、XP は JIS90）。したがって、Windows Vista で入力した文字を Windows XP で参照したとき、文字の形状が異なったり、表示できないことがあります。詳しくは、マイクロソフト社のウェブサイトで『JIS X 0213:2004 対応と新日本語フォント「メイリオ」について』に関する情報をご覧ください。

解像度設定

ツールメニューで「オプション」、「解像度」を順に選択して開く解像度設定ダイアログで設定します。



再生の解像度を変更するには

「通常」、「1/2 解像度」、「1/4 解像度」の中から選択します。
「1/2 解像度」または「1/4 解像度」に設定するとプレビュー画質は低下しますが、再生時のデコーダーの負荷が低減するため、再生レスポンスは向上します。CPU の性能が充分ではないコンピューターで再生するときは、これらの解像度に変更することをおすすめします。

ショートカットキー一覧

本ソフトウェアでは、キーボードで操作できる機能があります。以下にショートカットキーの一覧をメニューの機能ごとに示します。表の「操作」欄で、キーボードのあるキーを押したまま別のキーを押すときは、「Ctrl + R」のようにキーの名前を「+」記号でつないで示します。

ファイルメニュー

コマンド名	操作	機能	参照先
フォルダ名変更	F2	選択したフォルダーの名前を変更する。	22 ページ
フォルダ作成	Ctrl + N	メディアまたはフォルダー内にフォルダーを作成する。	22 ページ
保存フォルダを開く	Ctrl + E	エクスプローラを起動し、現在選択しているフォルダーを開く。	22 ページ
インポート	Ctrl + M	MP4 ファイル（未登録クリップ）をインポートする。	17 ページ
エクスポート >MXF	Ctrl + G	XDCAM EX フォーマットのクリップを MXF フォーマットに変換してエクスポートする。	17 ページ

編集メニュー

コマンド名	操作	機能	参照先
全コピー	Ctrl + Shift + C	メディアまたはフォルダー内のクリップをすべてコピーする。	24 ページ
カット	Ctrl + X	選択したクリップをカットする（切り取る）。	15 ページ
コピー	Ctrl + C	選択したクリップをコピーする。	14 ページ
貼り付け	Ctrl + V	カットまたはコピーしたクリップを貼り付ける。	14 ページ 15 ページ
削除	Delete	選択したクリップを削除する。	16 ページ
プロパティ	Ctrl + I	選択したクリップのプロパティウィンドウを表示する。	19 ページ
フォルダ分割	Ctrl + W	選択したフォルダーを、指定したサイズで分割する。	23 ページ
フォルダ結合	Ctrl + J	選択したフォルダーに、指定した別のフォルダーを結合する。	24 ページ

表示メニュー

コマンド名	操作	機能	参照先
フォルダ	Shift + T	ツリー表示部を隠す / 表示する。	−
ルートフォルダ変更	Shift + O	ツリー表示部のルートフォルダーを変更する。	13 ページ
上へ	Shift + U	1 つ上のフォルダーへ移動する。	13 ページ
縮小版	Shift + H	リスト表示部をサムネイル表示にする。	10 ページ
一覧	Shift + L	リスト表示部を一覧表示にする。	
詳細	Shift + D	リスト表示部を詳細表示にする。	
アイコンの整列 >Title	Ctrl + Shift + N	リスト表示部のクリップを、タイトルをキーにして昇順 / 降順に並べ替える。	
アイコンの整列 >Size	Ctrl + Shift + S	リスト表示部のクリップを、サイズをキーにして昇順 / 降順に並べ替える。	
アイコンの整列 >Duration	Ctrl + Shift + D	リスト表示部のクリップを、デュレーションをキーにして昇順 / 降順に並べ替える。	
アイコンの整列 >Date	Ctrl + Shift + P	リスト表示部のクリップを、撮影日時をキーにして昇順 / 降順に並べ替える。	
検索	F3	クリップを検索する。	19 ページ
最新の情報に更新	F5	ツリー表示部およびリスト表示部のデータを最新情報に更新する。	−

ビューアーメニュー

コマンド名	操作	機能	参照先
再生制御 > 再生	5 または L	再生を開始する。	12 ページ
再生制御 > 停止	スペースまたは K	現在位置で動作を停止する。	
再生制御 > 早送り	S	現在位置より後ろをサーチする（早送り）。	
再生制御 > 巻き戻し	A	現在位置より前をサーチする（巻き戻し）。	
再生制御 > 先頭へ	Q	クリップの先頭フレームへ移動する。	
再生制御 > 終端へ	W	クリップの最終フレームへ移動する。	
再生制御 >+1 Frame	4	1 フレーム進む。	
再生制御 > − 1 Frame	3	1 フレーム戻る。	
表示 > 全画面	F11	スクリーンを全画面表示にする。	18 ページ

ツールメニュー

コマンド名	操作	機能	参照先
オプション > 管理	Ctrl + O	本ソフトウェアに関する環境設定を行う。	26 ページ
オプション > 解像度	Ctrl + P	再生の解像度を設定する。	26 ページ

本ソフトウェアでは、GNU Lesser General Public License（LGPL）を使用しています。
ライブラリー名：FFMPEG

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
本製品は以下の LGPL 適用ソフトウェアを使用しており、お客様にはこれらのソフトウェアのソースコードの入手、改変、再配布の権利があることをお知らせします。

FFMPEG
- avcodec-51.dll
- avformat-51.dll
- avutil-49.dll

これらのソースコードは、付属の CD-ROM の ClipBrowser/SRC フォルダー内に収録されています。
また、以下のホームページからダウンロードすることもできます。
http://www.sony.net/Products/Linux/Download/search.html

なお、ソースコードの内容についてのお問い合わせはご遠慮ください。

FFmpeg は FFmpeg プロジェクトの創始者である Fabrice Bellard の商標です。

Mac OS 編

Mac OS の場合の設定方法を説明します。

はじめに

本書の対象読者

本書では、Mac OS 上で動作する XDCAM EX Clip Browsing Software（XDCAM EX クリップブラウジングソフトウェア）について説明しています。本書は、このソフトウェアを使ってファイルやフォルダーを操作するユーザーを対象としており、読者に Mac OS の操作に関する基本的な知識があることを前提としています。

特殊キーの表記について

本書では、キーボードの特殊キーを次のように表記します。

シンボル	本書での表記
⌘	コマンド
⇧	shift
⌥	option
^	control
↩	return

概要

XDCAM EX Clip Browsing Software は、XDCAM EX 機器で使用されるクリップを操作するためのソフトウェアです。本ソフトウェアをコンピューターにインストールすると、クリップのコピー、移動、削除を行ってクリップを整理したり、クリップのフォーマットを変換するなどの操作を、GUI（グラフィカルユーザーインターフェース）を使って簡単に行うことができます。また、クリップをプレビューしたり、クリップに付属するメタデータを参照することもできます。
本ソフトウェアで操作できるクリップのフォーマットは、XDCAM EX フォーマットの互換データです。

ソフトウェアの動作環境

本ソフトウェアを動作させるには、次の条件を備えたコンピューターを用意してください。

項目	条件
OS	OS X 10.4.10 a)
CPU	Intel Core 2 Duo 1GHz 以上を推奨 b)
メモリー	1GB 以上を推奨

a) Mac OS は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。

b) Intel は、アメリカ合衆国および他の国における Intel Corporation の登録商標です。Core は、アメリカ合衆国および他の国における Intel Corporation の商標です。

ソフトウェアのインストール

CD-ROM からインストールする場合

1 付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブに入れる。

ディスクアイコンが表示されます。

2 ディスクアイコンをダブルクリックする。

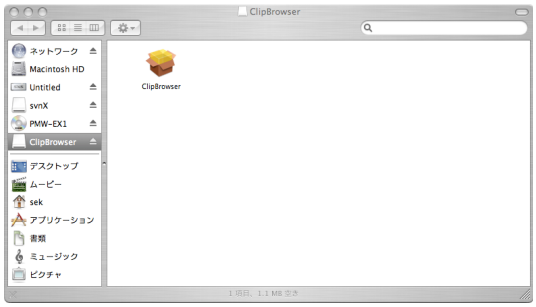
CD-ROM の内容が表示されます。

3 index.htm をダブルクリックする。

表紙ページがブラウザに表示されます。

4 XDCAM EX Clip Browsing Software Installer から「MAC OS X」を選択してクリックする。

Finder が起動し、ClipBrowser.pkg が表示されます。



5 ClipBrowser.pkg をダブルクリックする。

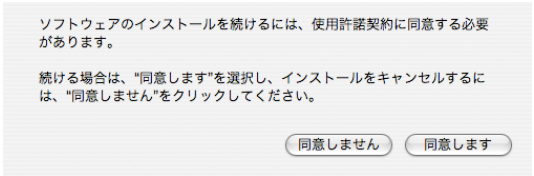
インストール画面が表示されます。

6 「続ける」をクリックする。

使用許諾契約画面が表示されます。

7 「続ける」をクリックする。

次のメッセージが表示されます。



8 「同意します」をクリックする。

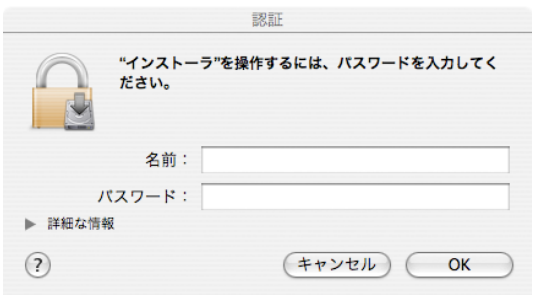
インストール先の選択画面が表示されます。

9 「続ける」をクリックする。

次の画面が表示されます。

10 「インストール」をクリックする。

認証画面が表示されます。



11 名前とパスワードを入力し、「OK」をクリックする。

インストールが完了すると、次の画面が表示されます。

12「閉じる」をクリックしてダイアログを閉じる。

アンインストールするには

インストール先のフォルダー（デフォルト：/ アプリケーション /XDCAM EX Clip Browser）をゴミ箱に移動します。

起動と終了

◆ ソフトウェアをインストールする方法については、「ソフトウェアのインストール」（32 ページ）をご覧ください。

ソフトウェアを起動する

Finder で Applications フォルダー内の XDCAM EX Clip Browser フォルダーを開き、XDCAM EX Clip Browser をダブルクリックします。
XDCAM EX のバナーが表示され、ソフトウェアが起動すると操作ウィンドウ（34 ページ参照）が表示されます。

ソフトウェアを終了する

次のいずれかを実行します。

- XDCAM EX Clip Browser メニューで「XDCAM EX Clip Browser を終了」を選択する。
- 操作ウィンドウの左上にある×（閉じる）ボタンをクリックする。

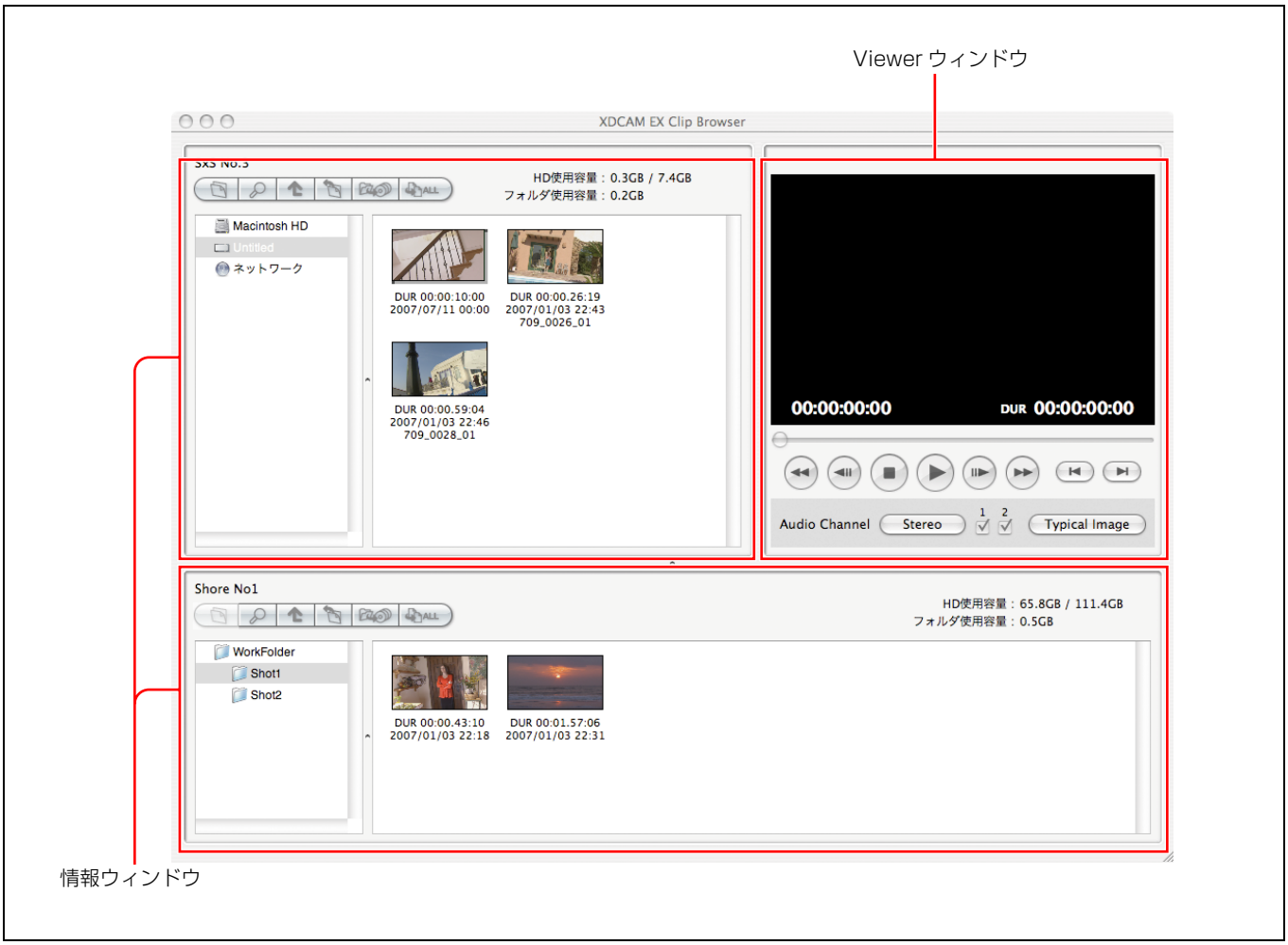
ご注意

ファイル操作が行われているときに、コンピューターの電源を切らないでください。ファイルが壊れる可能性があります。操作の終了を待つか、操作をキャンセルしてから電源を切ってください。

各部の名称と働き

操作ウィンドウの構成

初期状態では、次図に示すように構成されています。



ウィンドウの表示位置とサイズは変更することができます。

ウィンドウの表示位置とサイズを初期状態に戻すには

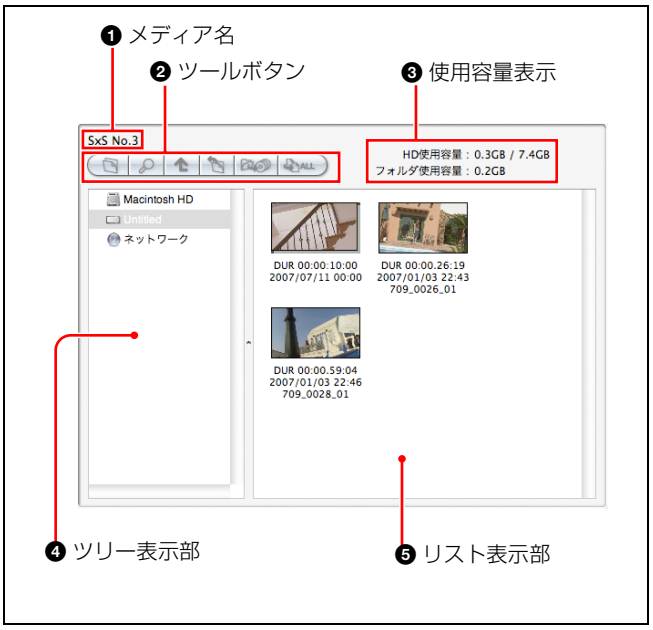
ウィンドウメニューで「表示位置の初期化」を選択します。

ご注意

- 各ウィンドウの配置は変更できません。
- 各ウィンドウを個別に閉じることはできません。

情報ウィンドウ

このウィンドウ上で、クリップとフォルダーの各種操作を行い、クリップに付属するメタデータを参照します。



❶ メディア名

メディアまたはフォルダーに付けた名前が表示されます。

❷ ツールボタン

クリップやフォルダーの操作に使用するツールボタンが配置されています。

ツールボタン		機能	参照先
アイコン	名称		
	フォルダ作成	フォルダーを新規作成する。	45 ページ
	検索	クリップを検索する。	42 ページ
	上へ	1 つ上のフォルダーへ移動する。	−
	ルートフォルダ変更	ツリー表示部のルートフォルダーを変更する。	−
	フォルダ分割	フォルダーを分割する。	46 ページ
	全コピー	メディアまたはフォルダー内のクリップをすべてコピーする。	47 ページ

❸ 使用容量表示

各情報ウィンドウで選択されているメディアまたはフォルダー内のクリップおよび関連データの使用容量を表示します。

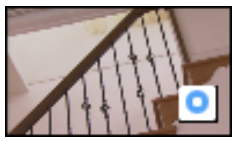
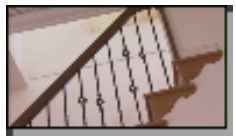
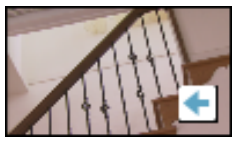
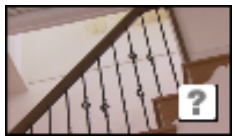
❹ ツリー表示部

メディアとフォルダーの構成を 2 階層分表示します。下の階層のフォルダーをダブルクリックすると、そのフォルダーがルートフォルダーとなり、その下の階層が表示されます。

メディアをクリックしたり、フォルダーをダブルクリックすると、メディアやフォルダーに保存されているクリップが、リスト表示部に一覧表示されます。

❺ リスト表示部

ツリー表示部で選択されているメディアやフォルダーに保存されているクリップを、クリップの代表画（サムネイル）で表示します。代表画がない場合は、アイコンで表示します。また、クリップの撮影日時とタイトルも表示します。

表示例	説明
	通常のクリップ
	OK マーク付きクリップ（XDCAM EX 機器で OK マークを設定した）a)
	分割されたクリップの一部（周囲に枠が表示される）b)
	MP4 ファイルのインポートクリップ
	MP4 ファイルの未登録クリップ（まだインポートされていないクリップ）
	異常クリップ c) d)

a) 本ソフトウェアでは、OK マーク付きクリップも移動または削除されます。

b) XDCAM EX 機器では、4GB を超える映像ファイルを自動的に複数のクリップとして保存します。それぞれのクリップは複数のメディアに分割して記録された一部分となり、不足している画像部分は再生されません。

c) ファイルが壊れている、ファイルの関連付けが切れている（変更されている）、必要なファイルが不足している、サムネイルが作成できないなどの原因により、本ソフトウェアで再生 / 表示できないクリップ

d) 他のアプリケーションがクリップのファイルを使用しているとき

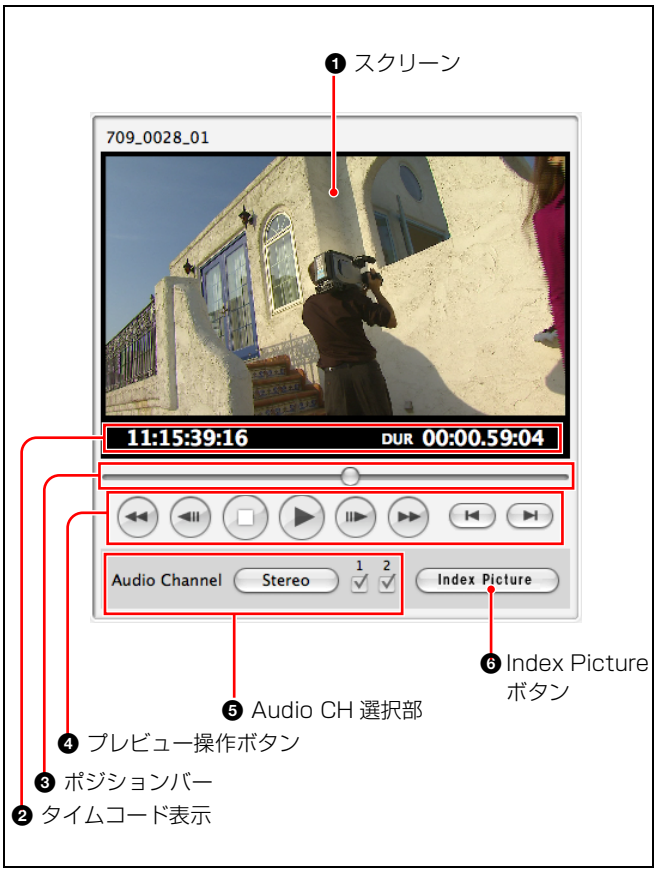
Viewer（ビューアー）ウィンドウ

このウィンドウ上で、クリップのプレビューと代表画の変更を行います。

Viewer ウィンドウについてのご注意

このウィンドウで行う再生はプレビュー再生です。以下の点にご注意ください。

- コンピューターの性能や使用状況によっては、コマ落ちしたり、タイムコードが実際の値とずれることがあります。
- クリップが不完全な状態の場合、再生時に画像が乱れたりフリーズすることがあります。
- 分割されたクリップの場合は、不足している画像部分は再生されません。
- XDCAM EX 機器以外で作成したクリップについては、再生できない場合があります。
- 再生中に、コンピューターの画面の設定（環境設定）を変更すると、画像が正しく再生できなくなることがあります。その場合は、ソフトウェアを再起動してください。
- ノートタイプコンピューターなどで、コンピューター自身のモニターと外部モニターに同時に画像を表示しようとしても表示されないことがあります。



❶ スクリーン

再生画を表示します。

❷ タイムコード表示

ポジションバーの位置のタイムコードとクリップのデュレーション（DUR）の値を表示します。タイムコードが記録されていない場合は、カウンター値が表示されます。

ご注意

- 未登録クリップでは、25fps でカウンターが動作します。
- インポートクリップでは、00:00:00:00 からカウントを開始します。

❸ ポジションバー

クリップ上の現在位置を示します。つまみを任意の位置にドラッグするか、またはポジションバー上の任意の場所をクリックして、その位置に移動することができます。

❹ プレビュー操作ボタン

クリップのプレビュー操作を行うボタンです。

ボタン	機能
	再生を開始する。再生中は緑色になる。
	現在位置で動作を停止する。
	現在位置より後ろをサーチする（早送り）。
	現在位置より前をサーチする（巻き戻し）。
	クリップの最終フレームへ移動する。
	クリップの先頭フレームへ移動する。
	1 フレーム戻る。
	1 フレーム進む。

❺ Audio CH（オーディオチャンネル）選択部

Stereo（ステレオ）/Monaural（モノラル）ボタンをクリックして、オーディオをステレオにするかモノラルにするかを選択します。モノラルを選択したときは、1 または 2 のボタンをクリックして、オーディオチャンネルを選択します。

❻ Index Picture（代表画）ボタン
クリックすると、現在プレビューしているクリップの代表画を、現在表示しているフレームの静止画に変更します。

作業対象メディア / フォルダーの選択

操作するクリップが保存されているメディア、またはメディア内のフォルダーの選択のしかたについて説明します。選択操作には、情報ウィンドウのツリー表示部で指定する方法とルートフォルダ変更ダイアログで指定する方法があります。

メディアとは

本書では、次の記録媒体をメディアと呼びます。

- SxS メモリーカード
- USB メモリー
- コンピューターに内蔵されているハードディスク
- 外付けハードディスク
- CD-R
- DVD-R
- Blu-ray Disc

ツリー表示部で選択するには

1 情報ウィンドウのツリー表示部で、メディアまたはフォルダーをダブルクリックする。

ダブルクリックしたメディアまたはフォルダーの下の階層が表示されます。ツリー表示部では、メディアおよびフォルダーの構成が 2 階層ずつ表示されます。メディア内に直接クリップが保存されている場合は、内容がリスト表示部に表示されます。

2 下の階層のフォルダーをダブルクリックする。

ダブルクリックしたフォルダーがルートフォルダーとなり、1 つ下の階層が表示されます。

1 つ上の階層に戻るには

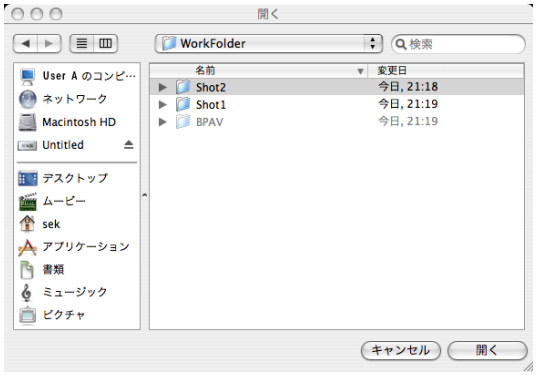
表示メニューで「上へ」を選択するか、ツールボタンの上へをクリックします。

3 必要に応じて手順 **2** を繰り返す。

選択したフォルダーの内容がリスト表示部に表示されます。

ルートフォルダ変更ダイアログで選択するには

1 表示メニューで「ルートフォルダ変更」を選択するか、ツールボタンのルートフォルダ変更をクリックする。



2 ダイアログ内のツリー表示で、メディアまたはフォルダーを選択する。

3 「開く」をクリックする。

ルートフォルダ変更ダイアログが閉じ、選択したメディアまたはフォルダーの内容がリスト表示部に表示されます。

ご注意

メディアを選択したときに、「サルベージが必要です」や「記録を行った装置にて復旧処理を行ってください」のメッセージが表示されることがあります。この場合、記録中にXDCAM EX 機器の電源を切ったり、記録メディアを抜いたことにより、メディアのデータが不完全な状態になっています。メディアを XDCAM EX 機器に戻して直ちにデータを復旧させてください。データを復旧させないまま操作を続けると、データが復旧できなくなります。

クリップの操作

クリップ操作に関するご注意

処理の実行中は、必ず次の事項をお守りください。

- コンピューターおよびメディアドライブの電源を切らないでください。
- 対象となるフォルダーを Finder などで削除しないでください。
- 対象となるメディアを取り出したり、抜いたりしないでください。
- ロックされたフォルダーやファイルは操作できません。

クリップをコピーする

メディア内またはコンピューター上でクリップを複製したり、メディアとコンピューター間でクリップをコピーすることができます。

複数のメディアに分割して記録されたクリップを 1 か所に集めると

XDCAM EX 機器では、4GB を超える映像ファイルを自動的に複数のクリップとして保存します。これらの分割されたクリップを 1 つのメディア / フォルダーに集めると、自動的に連結されて 1 つのクリップとして扱うことができます。

◆ 詳しくは、「分割されたクリップを連結する」（40 ページ）をご覧ください。

1 「作業対象メディア / フォルダーの選択」（37 ページ））を参照し、いずれか一方の情報ウィンドウにコピーするクリップを表示する。

2 もう一方の情報ウィンドウでクリップのコピー先となるメディアまたはフォルダーを選択する。

新規のフォルダーにコピーしたいときは

コピー先となるメディアやフォルダー内に新規フォルダーを作成しておきます。

◆ 操作については、「フォルダーを作成する」（45 ページ）をご覧ください。

3 コピー元の操作ウィンドウで、コピーしたいクリップをクリックして選択する。

複数のクリップを選択するには

shift キーを押したままクリップを順にクリックします。

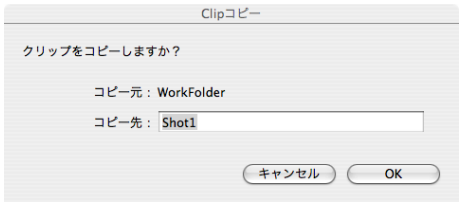
ご注意

未登録のクリップや、異常クリップを選択してもコピーできません。

4 次のいずれかの操作を行う。

- コピーしたいクリップを、コピー先のメディア / フォルダーの内容が表示された情報ウィンドウ上にドラッグし、リスト表示部内にドロップする。
- 編集メニューで「コピー」を選択し、コピー先のメディア / フォルダーの内容が表示された情報ウィンドウをクリックしてから編集メニューで「貼り付け」を選択する。

コピーを実行するかどうかを確認するメッセージが表示されます。



5 コピー元とコピー先の表示を確認して、コピーを実行する場合は「OK」をクリックする。コピーを中止する場合は「キャンセル」をクリックする。

コピー先を変更するには

「コピー先:」ボックスをクリックして反転表示にし、コピー先に指定したいフォルダー名を入力します。

コピーを開始すると、コピーの進捗状況を示すダイアログが表示されます。

ご注意

いったんコピーが完了したら操作を取り消す（アンドゥを実行する）ことはできません。

コピーを中断するには

ダイアログ上の「キャンセル」をクリックします。

コピーが実行できないときは

以下に示す状況では、コピーが実行されず、メッセージが表示されます。

- コピー先の容量が不足している。
- コピー先に同じクリップがすでに存在する。タイトルが異なっていても、画像に付けられた ID（UMID）が同じであれば、同じクリップと認識されます。
- コピー先のメディア / フォルダーに対する削除や書き込みの権限がない。
- コピー先のメディア / フォルダーが書き込み禁止になっている。

クリップを移動する

メディア内またはコンピューター上でクリップを移動したり、メディアとコンピューター間でクリップを移動することができます。

ご注意

本ソフトウェアでは、OK マーク付きクリップも移動されます。

複数のメディアに分割して記録されたクリップを 1 か所に集めると

XDCAM EX 機器では、4GB を超える映像ファイルを自動的に複数のクリップとして保存します。これらの分割されたクリップを 1 つのメディア / フォルダーに集めると、自動的に連結されて 1 つのクリップとして扱うことができます。

◆ 詳しくは、「分割されたクリップを連結する」（40 ページ）をご覧ください。

1 「作業対象メディア / フォルダーの選択」（37 ページ）を参照し、いずれか一方の情報ウィンドウに移動するクリップを表示する。

2 もう一方の情報ウィンドウでクリップの移動先となるメディアまたはフォルダーを選択する。

新規のフォルダーに移動したいときは

移動先となるメディアや移動先のフォルダー内に新規フォルダーを作成しておきます。

◆ 操作については、「フォルダーを作成する」（45 ページ）をご覧ください。

3 移動元の情報ウィンドウで、移動したいクリップをクリックして選択する。

複数のクリップを選択するには

shift キーを押したままクリップを順にクリックします。

ご注意

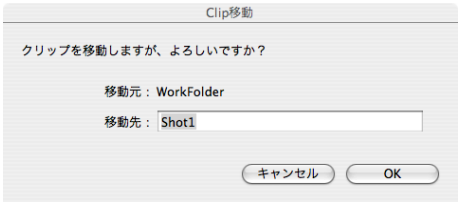
未登録のクリップや、異常クリップを選択しても移動できません。

4 次のいずれかの操作を行う。

- 移動したいクリップを、移動先のメディア / フォルダーの内容が表示された情報ウィンドウ上に、

control キーを押したままドラッグし、リスト表示部内にドロップする。
- 編集メニューで「カット」を選択し、移動先のメディア / フォルダーの内容が表示された情報ウィンドウをクリックしてから編集メニューで「貼り付け」を選択する。

移動を実行するかどうかを確認するメッセージが表示されます。



5 移動元と移動先の表示を確認して、移動を実行する場合は「OK」をクリックする。移動を中止する場合は「キャンセル」をクリックする。

移動先を変更するには
「移動先:」ボックスをクリックして反転表示にし、移動先に指定したいフォルダーの名前を入力します。

移動を開始すると、移動の進捗状況を示すダイアログが表示されます。

ご注意

- いったん移動が完了したら操作を取り消す（アンドゥを実行する）ことはできません。
- 移動中に本ソフトウェアを終了しないようにしてください。本ソフトウェアが終了すると、クリップと付加情報（メタデータ）との関連性が失われる可能性があります。また、分割クリップの連結情報が失われたり、異常クリップになる可能性があります。重要なクリップの場合は、コピーしてからコピー元を削除する方法で移動することをおすすめします。

移動を中断するには
ダイアログ上の「キャンセル」をクリックします。

移動が実行できないときは
以下に示す状況では、移動が実行されず、メッセージが表示されます。
- 移動先の容量が不足している。
- 移動先に同じクリップがすでに存在する。タイトルが異なっていても、画像に付けられた ID（UMID）が同じであれば、同じクリップと認識されます。
- 移動するクリップが保存されているメディア / フォルダーまたは移動先のメディア / フォルダーに対する削除や書き込みの権限がない。
- 移動するクリップが保存されているメディア / フォルダーまたは移動先のメディア / フォルダーが書き込み禁止になっている。

クリップを削除する

ご注意

本ソフトウェアでは、OK マーク付きクリップも削除されます。

1 「作業対象メディア / フォルダーの選択」（37 ページ）を参照して、削除するクリップを表示する。

2 削除したいクリップをクリックして選択する。

複数のクリップを選択するには
shift キーを押したままクリップを順にクリックします。

3 次のいずれかの操作を行う。

- コマンドキーを押したまま delete キーを押す。
- 編集メニューで「削除」を選択する。

削除を実行するかどうかを確認するメッセージが表示されます。

4 削除を実行する場合は「OK」をクリックする。削除を中止する場合は「キャンセル」をクリックする。

ご注意

いったん削除が完了したら操作を取り消す（アンドゥを実行する）ことはできません。

削除が実行できないときは
以下に示す状況では、削除が実行されず、メッセージが表示されます。
- 削除するクリップが保存されているメディア / フォルダーに対する削除や書き込みの権限がない。
- 削除するクリップが保存されているメディア / フォルダーが書き込み禁止になっている。

分割されたクリップを連結する

長時間にわたる撮影 / 記録のために複数のメディアに分割して記録されたクリップを、コピー、移動、またはフォルダー結合によって仮想的に連結することができます。連結したクリップは、1 つのクリップとして利用できます。

◆ それぞれの操作について詳しくは、「クリップをコピーする」（38 ページ）、「クリップを移動する」（39 ページ）、「フォルダーを結合する」（47 ページ）をご覧ください。

ご注意

- 時間軸上で連続していない分割クリップは連結されません。
- 未登録クリップや異常クリップは連結されません。
- 連結の関連付けはファイル名ではなく UMID を参照して行われます。UMID が書き変えられているクリップは連結されません。

クリップをインポートする

MP4 ファイル（未登録クリップ）をインポートして、XDCAM EX 機器で取り扱うことのできるクリップとして登録することができます。

1 「作業対象メディア / フォルダーの選択」（37 ページ）を参照して、インポートする MP4 ファイルの保存されているメディアまたはフォルダーを選択する。

2 次のいずれかの操作を行う。

リスト表示部で未登録クリップを指定する場合

未登録クリップを選択し、ファイルメニューで「インポート」を選択する。

選択したクリップがインポートリストに追加された状態で、インポートダイアログが表示されます。
手順 **6** に進んでください。

リスト表示部で未登録クリップを指定しない場合

ファイルメニューで「インポート」を選択する。

インポートダイアログが表示されます。
手順 **3** に進んでください。

3 「...」をクリックしてフォルダの参照ウィンドウを開き、インポートする MP4 ファイルを指定する。

指定したファイルが「インポート元」エディットボックスに表示されます。

ご注意

4GB 以上のファイルを選択すると、インポートできません。

4 「追加」をクリックして、ファイルをリストに追加する。

5 手順 **3**、**4** を繰り返して、インポートするファイルをすべてリストに表示する。

リストからファイルを削除するには

削除したいファイルを選択して、「削除」をクリックします。

6 「OK」をクリックして、インポートを開始する。

インポートが完了すると、未登録クリップが通常のクリップに変換されます。
インポートクリップには、マークが表示されます。

インポートが実行できないときは

以下に示す状況では、インポートが実行されず、メッセージが表示されます。

- インポート先のメディア / フォルダーに対する削除や書き込みの権限がない。
- インポート先のメディア / フォルダーが書き込み禁止になっている。

ご注意

- インポートされたクリップのプロパティは自動で設定されます。
- インポートされたクリップのタイムコードは 00:00:00:00 から開始されます。
- XDCAM EX フォーマットとの互換性が取れないため、XDCAM EX 機器で再生できないこともあります。

クリップの内容をプレビューする

Viewer ウィンドウのスクリーンでクリップの内容をプレビューすることができます。

◆ Viewer ウィンドウにはいくつかの制約事項があります。詳しくは、「Viewer ウィンドウについてのご注意」（36 ページ）をご覧ください。

Viewer ウィンドウにクリップを表示するには

いずれかの情報ウィンドウのリスト表示部にプレビューしたいクリップを表示し、ダブルクリックします。
Viewer ウィンドウ上でクリップの再生が始まります。

再生を停止するには停止ボタンをクリックします。
スクリーンの下に、クリップの現在位置のタイムコード（またはカウンター値）と、クリップのデュレーション（DUR）が表示されます。

ご注意

DVD-R や CD-R に保存されているクリップをプレビューすると、滑らかに再生されません。

プレビューの操作をするには

次のいずれかの方法により、Viewer ウィンドウ上に表示されたクリップに対して再生、サーチなどの操作を行うことができます。

- Viewer ウィンドウ上のプレビュー操作ボタン（36 ページ参照）をクリックする。
- ビューアーメニューで「再生制御」を選択し、実行したい操作項目を選択する。
- ポジションバーをドラッグする。

スクリーンを全画面表示にするには

スクリーンにクリップを表示した状態で、ビューアーメニューの「表示」、「全画面」を順に選択します。
スクリーンを元のサイズに戻すには、スクリーン上をダブルクリックするか、Esc キーを押します。

プレビュー時のオーディオを選択するには

Stereo（ステレオ）/Monaural（モノラル）ボタンをクリックして、オーディオをステレオにするかモノラルにするかを選択できます。モノラルを選択したときは、1 または 2 のボタンをクリックして、オーディオチャンネルを選択します。

クリップの代表画を変更する

クリップのプレビュー中に、クリップの代表画を変更することができます。

1 クリップを再生して、代表画に設定したいフレームを表示する。

2 Index Picture ボタンをクリックするか、ビューアーメニューで「編集」、「代表画」を順に選択する。

現在表示しているフレームが、プレビューしているクリップの代表画になります。

ご注意

- メディアに保存されたクリップをプレビューしている場合は、操作中にメディアを取り出さないでください。
- 操作中に電源が切れないよう注意してください。
- 代表画を変更したクリップを XDCAM EX 機器で使用すると、指定した代表画の近傍フレームが代表画になることがあります。
- 早送り、巻き戻し中に操作を行うと、指定したい位置のフレームが代表画にならない場合があります。

クリップを検索する

プレビューするクリップが見つからないときに、クリップのタイトルやコメント、クリップの撮影日時に基づいて、クリップを絞り込むことができます。

1 次のいずれかの操作を行う。

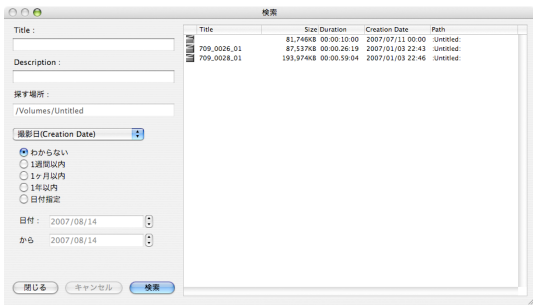
- 操作ウィンドウのツリー表示部で、検索したいクリップが存在しているドライブまたはフォルダーを選択する。
- 表示メニューで「ルートフォルダ変更」を選択するか、ツールボタンのルートフォルダ変更をクリックしてルートフォルダ変更ウィンドウを開き、検索したいクリップが存在しているメディアまたはフォルダーを選択する。

メディアまたは選択したフォルダーに保存されているクリップやフォルダーが、リスト表示部に一覧表示されます。

2 次のいずれかの操作を行う。

- 表示メニューで「検索」を選択する。
- ツールボタンの検索をクリックする。

検索ダイアログが表示されます。「探す場所」のボックスには、現在選択しているフォルダーのパスが表示されます。



3 クリップの検索条件を、次の中から最低 1 つ指定する。

- 「Title（タイトル）」のボックスに、タイトルの一部または全体を入力する。
- 「Description（コメント）」のボックスに、コメントの一部または全体を入力する。

- 「撮影日」のボタンとリストボックスを使って、クリップが撮影された日時を指定する。

4 「検索」をクリックする。

手順 **3** で指定した条件に該当するクリップが、検索ダイアログ内に一覧表示されます。
プレビューしたいクリップをダブルクリックすると、クリップが Viewer ウィンドウに表示され、再生が始まります。
また、操作ウィンドウのツリー表示部では、プレビューしているクリップが保存されているフォルダーがリスト表示部に表示されます。

ご注意

検索実行中は、必ず次の事項をお守りください。
- 対象となるフォルダーを削除しないでください。
- 対象となるメディアを取り出したり、抜いたりしないでください。

クリップの情報を参照する

クリップのプロパティウィンドウを表示して、クリップの情報を参照することができます。

ご注意

ソフトウェアの動作環境に応じて文字コードに対応するフォントを選択していないと、文字化けが生じます。あらかじめ適切なフォントを選択してください。

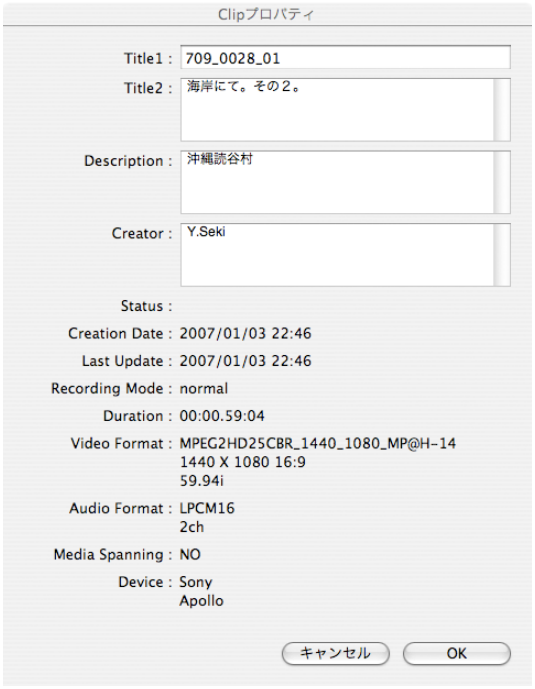
プロパティウィンドウを表示するには

1 「作業対象メディア / フォルダーの選択」（37 ページ）を参照して、情報を参照するクリップを表示する。

2 情報を参照したいクリップをクリックして選択する。

3 編集メニューで「プロパティ」を選択する。

プロパティウィンドウが表示されます。



プロパティウィンドウに表示される情報

次表に示す情報が表示されます。Title1、Title2、Description の内容を変更することができます。

項目	内容
Title1（タイトル）	リスト表示部に、クリップのタイトルとして表示される。（Title2 が設定されているときは Title2 が表示される。） 英数字および記号を 63 文字まで入力可能（改行不可）。 使用可能な記号：スペース、−、+、#
Title2（サブタイトル）	リスト表示部に、クリップのタイトルとして表示される。 127 バイトまでの範囲で入力可能（マルチランゲージ対応）。 英数字で 127 文字、マルチランゲージの場合 UTF-8 を使用する（通常は 1 文字で 1 ～ 3 バイト使用）。
Description（コメント）	任意のコメントを 2047 バイトまでの範囲で入力可能（マルチランゲージ対応）。 英数字で 2047 文字、マルチランゲージの場合 UTF-8 を使用する（通常は 1 文字で 1 ～ 3 バイト使用）。
Creator（作成者）	クリップの作成者の情報 127 バイトまでの範囲で入力可能（マルチランゲージ対応）。 英数字で 127 文字、マルチランゲージの場合 UTF-8 を使用する（通常は 1 文字で 1 ～ 3 バイト使用）。
Status（ステータス）	クリップに OK マークが付いている場合は、「OK」が表示される。OK マークが付いていない場合は何も表示されない。
Date（作成日時）	クリップの作成日時

項目	内容
Last Update（最終更新日）	クリップの最終更新日 クリップのコピーや移動、連結を行ったり、タイトルやコメント、代表画を変更した場合も更新される。
Recording Mode（記録モード）	クリップを作成したときの XDCAM EX 機器の動作モード **Normal**：通常記録 **Interval Rec**：インターバルレック **Frame Rec**：フレームレック **Slow&QuickMotion**：スローアンドクイックモーション ◆各モードについて詳しくは、XDCAM EX 機器の取扱説明書をご覧ください。
Duration（デュレーション）	クリップ長を時：分：秒：フレームで表示
Video Format（ビデオフォーマット）	ビデオの記録フォーマットの詳細情報
Audio Format（オーディオフォーマット）	オーディオの記録フォーマットの詳細情報
Media Spanning（メディアの分割）	分割されたクリップの場合は「Yes」、分割されていない場合は「No」を表示
Device（デバイス）	記録機の情報

表示内容を変更したときは

「OK」をクリックして変更内容を保存します。
変更内容を破棄するときは、「キャンセル」をクリックします。

フォルダー / メディアの操作

フォルダー / メディア操作に関するご注意

処理の実行中は、必ず次の事項をお守りください。

- コンピューターおよびメディアドライブの電源を切らないでください。
- 対象となるメディアを取り出したり、抜いたりしないでください。

XDCAM EX 機器用クリップのフォルダーについて

XDCAM EX 機器で使用できるクリップが保存されているフォルダーには、BPAV フォルダー（48 ページ参照）が存在します。（情報ウィンドウには表示されませんが、Finder で見ることができます。）
本ソフトウェアでは、クリップをコピーしたり、移動するときは、BPAV フォルダーも一緒にコピーまたは移動します。BPAV フォルダーと切り離してクリップだけを操作することはできません。

ご注意

ネットワーク機能を使用して、複数のコンピューターから同時に同じフォルダーを操作すると、ファイルがアクセス不能になることがあります。

フォルダーを作成する

1 「作業対象メディア / フォルダーの選択」（37 ページ）を参照して、フォルダーを作成したいメディアまたはフォルダーを選択する（ツリー表示部でルートフォルダーにする）。

2 ルートフォルダーにフォーカスがある状態で、ファイルメニューから「フォルダ作成」を選択するか、ツールボタンのフォルダ作成をクリックする。

手順 **1** で選択したメディアまたはフォルダー内に、新規フォルダーが作成されます。

フォルダーが作成できないときは

以下に示す状況では、フォルダーは作成されず、メッセージが表示されます。

- 手順 **1** で選択したメディア / フォルダーに対する書き込みの権限がない。
- 手順 **1** で選択したメディア / フォルダーが書き込み禁止になっている。

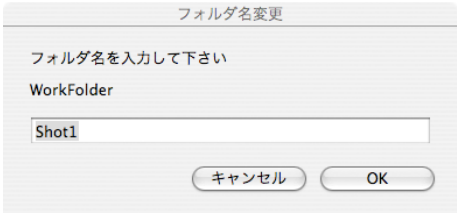
ご注意

- コンピューターのファイルシステム上、書き込みができないファイルシステムでは、フォルダーを作成することはできません。
- フォルダーの作成直後は通常のフォルダーと同じですが、クリップのコピーや移動などを 1 度でも行うと、自動的に XDCAM EX 機器用のワークフォルダーにフォーマットされます。（必要なフォルダーやメタデータファイルが自動的に作成されます。）
- 「BPAV」という名前を指定することはできません。
- OS で使用が禁止されている文字は使用できません。

フォルダー名を変更するには

1 作成したフォルダーを選択し、ファイルメニューで「フォルダ名変更」を選択します。

フォルダ名変更ダイアログが表示されます。



2 エディットボックスに希望のフォルダー名を入力する（英数字と記号で 80 文字まで入力可能）。

ご注意

- 「BPAV」という名前を指定することはできません。
- OS で使用が禁止されている文字は使用できません。

3 「OK」をクリックする。

フォルダーのバックアップを作成するには

1 「作業対象メディア / フォルダーの選択」（37 ページ）を参照して、バックアップを作成したいフォルダーを選択する。

2 ファイルメニューで「保存フォルダを開く」を選択する。

Finder が表示されます。

3 Finder でバックアップ作成の操作を行う。

フォルダーの容量が大きいため、1 つのメディア / フォルダーに保存できないときは

フォルダーを分割することにより、複数のディスクに分けてバックアップを作成することができます。分割されたフォルダーは再結合して元に戻すことができます。

◆ 詳しくは、「フォルダーを分割する」（46 ページ）および「フォルダーを結合する」（47 ページ）をご覧ください。

フォルダーを削除する

1 「作業対象メディア / フォルダーの選択」（37 ページ）を参照して、削除したいフォルダーを選択する。

2 コマンドキーを押したまま delete キーを押すか、編集メニューで「削除」を選択する。

フォルダーを削除できないときは

以下に示す状況では、削除が実行されず、メッセージが表示されます。

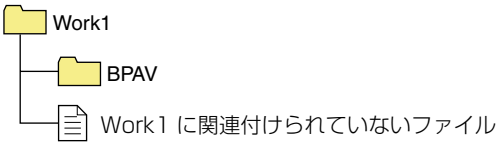
- 選択したフォルダーに対する削除や書き込みの権限がない。
- 選択したフォルダーが書き込み禁止になっている。
- 選択したフォルダーの直下に、クリップや他のフォルダーが存在する。[1)]

ご注意

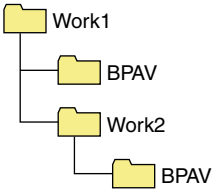
- フォルダーを削除すると、フォルダー内の全データが削除されますので注意してください。
- いったん削除が完了したら操作を取り消す（アンドゥを実行する）ことはできません。

1) 対象フォルダー（Work1）を削除できない例を以下に示します。

Work1 に関連付けられていないファイルなどがあるとき



他のワークフォルダー（Work2）などがあるとき



Work1 フォルダーを削除するには、あらかじめ Work1 に関連付けられていないファイルや Work2 フォルダーを削除する必要があります。

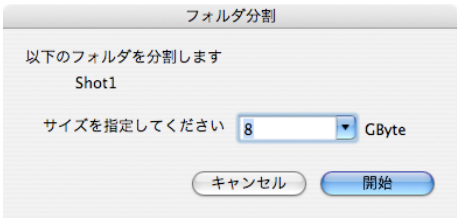
フォルダーを分割する

フォルダーを分割してクリップを分散させて保存することにより、各フォルダーの記録容量を小さくすることができます。フォルダー内の全データを、フォルダーよりも小さい容量のメディアにバックアップする場合に使用します。たとえば、8GB のフォルダーを 4GB の DVD-R メディアにバックアップする場合、4GB のフォルダー 2 つに分割します。フォルダーを分割しても個々のファイルは分割されません。

1 「作業対象メディア / フォルダーの選択」（37 ページ）を参照して、分割したいフォルダーを選択する。

2 編集メニューで「フォルダ分割」を選択するか、ツールボタンのフォルダ分割作成をクリックする。

フォルダ分割ダイアログが表示されます。



ご注意

フォルダーを分割しても個々のファイルは分割されません。分割後のフォルダーが指定した容量になるように、クリップが振り分けられます。したがって、フォルダー内にある一番大きなファイルサイズ以下のフォルダーサイズを指定することはできません。また、4GB 未満のサイズも指定できません。

3 分割後のフォルダーの容量を、ドロップダウンリストで指定する。

4 「開始」をクリックする。

指定したフォルダーの容量に応じて、分割数が最小となるようにフォルダーが分割され、クリップが各フォルダーに振り分けられます。分割の結果生成されたフォルダーには、元のフォルダー名に通し番号が付加された名前が自動的に設定されます。

ご注意

- いったん分割を開始したら中断（キャンセル）することはできません。
- ファイル分割されているクリップは、それぞれ別のフォルダーに振り分けられることがあります。ファイル分割されているクリップの振り分け先を変更す

る場合は、フォルダー分割後に手動でクリップを移動してください。

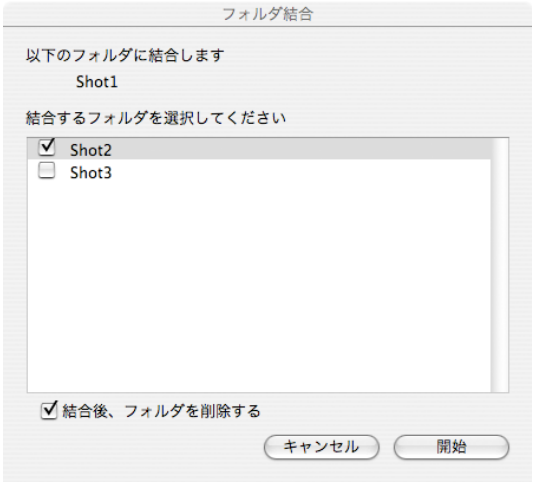
フォルダーを結合する

指定したフォルダーに他のフォルダーを結合することができます。分割したフォルダーを元に戻すための機能です。

1 「作業対象メディア / フォルダーの選択」（37 ページ）を参照して、結合したいフォルダーを選択する。

2 編集メニューで「フォルダ結合」を選択する。

フォルダ結合ダイログが表示されます。



3 手順**1**で指定したフォルダーに結合したいフォルダーのチェックボックスをオンにする。フォルダーの結合後、元のフォルダーを削除する場合は、「結合後、フォルダを削除する」のチェックボックスをオンにする。

ご注意

次の場合、フォルダーは削除されません。
- 結合するフォルダー内に別のフォルダーがあるとき
- フォルダーに削除や書き込みの権限がないとき
- フォルダーが書き込み禁止になっているとき

4 「開始」をクリックする。

手順 **1** で指定したフォルダーに手順 **3** で指定したフォルダーが結合され、フォルダー内のクリップが結合先に集められます。ファイル分割されていたクリップは自動的に連結し、1 つのクリップとして利用できます。

フォルダーが結合されないときは

以下に示す状況では、フォルダーは結合されず、メッセージが表示されます。
- 結合先フォルダーの容量が不足している。
- 結合元または結合先フォルダーに対する書き込みの権限がない。
- 結合元または結合先フォルダーが書き込み禁止になっている。
- 同じクリップが複数存在する。

メディアやフォルダー内のクリップをまとめてコピーする

1 「作業対象メディア / フォルダーの選択」（37 ページ）を参照し、いずれか一方の情報ウィンドウでコピー元のメディアまたはフォルダーを選択する。

2 もう一方の情報ウィンドウでコピー先となるメディアまたはフォルダーを選択する。

3 コピー元の情報ウィンドウをアクティブにして、編集メニューで「全コピー」を選択するか、ツールボタンの全コピーをクリックする。

Clip 全コピーダイログが表示されます。

4 コピー元とコピー先の表示を確認して、コピーを実行する場合は「OK」をクリックする。コピーを中止する場合は「キャンセル」をクリックする。

コピー先を変更するには

「コピー先 :」ボックスをクリックして反転表示にし、コピー先に指定したいフォルダー名を入力します。

コピーを開始すると、コピーの進捗状況を示すダイアログが表示されます。

コピーを中断するには

ダイアログ上の「キャンセル」をクリックします。

コピーが実行できないときは

以下に示す状況では、コピーが実行されず、メッセージが表示されます。
- コピー先の容量が不足している。
- コピー先に同じクリップがすでに存在する。タイトルが異なっていても、画像に付けられた ID（UMID）が同じであれば、同じクリップと認識されます。

- コピーするクリップが保存されているメディア / フォルダーまたはコピー先のメディア / フォルダーに対する削除や書き込みの権限がない。

付録

使用上のご注意

記録フォーマット

本ソフトウェアでは、XDCAM EX 機器用に規定されたフォーマットのみを使用することができます。このフォーマットの仕様は次のとおりです。

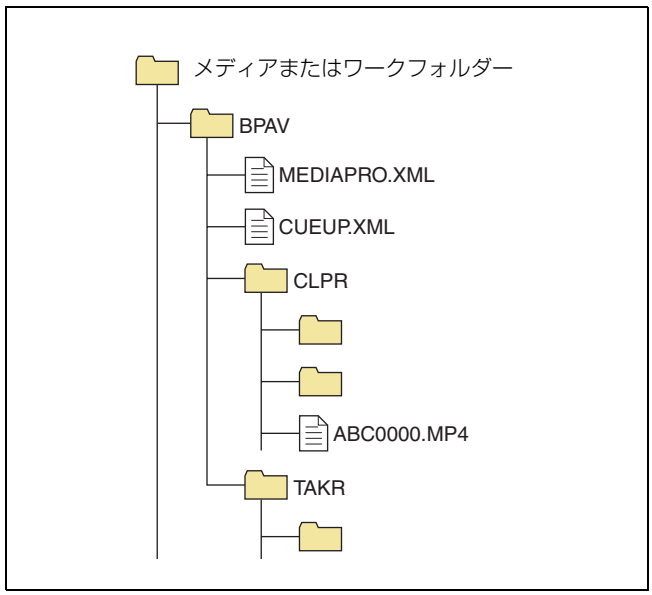
- フォルダーの名前と構成は、次項の図のように決められている。
- ファイルには各ファイルやフォルダー間のリンクに関する情報が記録されている。

ご注意

本ソフトウェア以外のツールなどを使用して、ファイルを編集したり、ファイルやフォルダーに対して削除、移動、名前の変更などの操作は行わないでください。このフォーマットの仕様に従わないファイルは、XDCAM EX 機器や本ソフトウェアで認識できなくなります。

記録フォルダー

映像や付加情報を記録するフォルダーは、次図のような階層構造になっています。
XDCAM EX フォーマットでは、BPAV フォルダー以下を１つのまとまりとして扱います。



- ワークフォルダーを Finder で開くと、BPAV フォルダーが１つだけ存在します。
- コピーやバックアップを行うときは、BPAV フォルダー以下を選択してください。

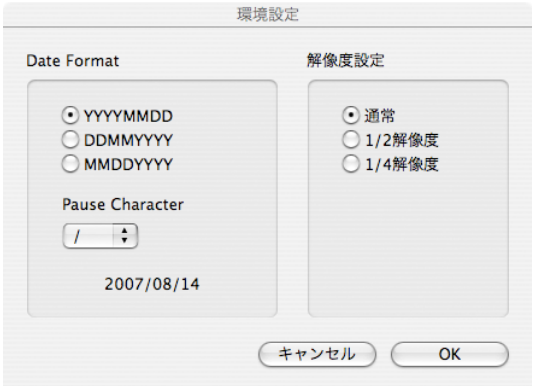
- 本ソフトウェアのツリー表示部でワークフォルダーを選択すると、BPAV フォルダーに登録されたクリップの一覧がリスト表示部に表示されます。AV データは CLPR フォルダーの下のフォルダー内に存在します。
- XDCAM EX 機器で使用するメディアは、メディアのルートフォルダーの下に BPAV フォルダーを作成します。
- MP4 ファイルを CLPR フォルダーの下にコピーしておくと、CLPR フォルダーの属する BPAV フォルダーをサムネイルまたは一覧表示したとき、リスト表示部に未登録の MP4 クリップ表示が現れます。
- CLPR フォルダーの下にある MP4 ファイルの未登録クリップをインポートすると、CLPR フォルダーの下に新たにフォルダーが作成され、そのフォルダー内に MP4 ファイルが移動します。
- 他のフォルダーから MP4 ファイルの未登録クリップをインポートすると、CLPR フォルダーの下に新たにフォルダーが作成され、そこにインポートされたクリップがコピーされます。フォルダー名は自動的に付けられます。
- 1 つの記録フォルダー内には最大で 600 個のクリップが登録できます。

ご注意

フォルダー名やファイル名はメタデータファイルと連携しているため、変更しないでください。

環境設定

環境設定ダイアログで、本ソフトウェアに関する環境設定を行います。
環境設定ダイアログを開くには、XDCAM EX Clip Browser メニューで「環境設定」を選択します。



Date Format：日付の表示形式を選択します。YYYY は西暦、MM は月、DD は日を表しています。
さらに Pause Character リストボックスで年月日の区切り記号を指定することができます。リストボックスの下には、選択されている形式が現在の日付で表示されます。

解像度設定：再生の解像度を設定します。「1/2 解像度」または「1/4 解像度」に設定するとプレビュー画質は低下しますが、再生時のデコーダーの負荷が低減するため、再生レスポンスは向上します。CPU の性能が充分ではないコンピューターで再生するときは、これらの解像度に変更することをおすすめします。

ご注意

Mac OS では、表示言語の切り換えは OS の機能に依存します。

ショートカットキー一覧

本ソフトウェアでは、キーボードで操作できる機能があります。以下にショートカットキーの一覧をメニューの機能ごとに示します。表の「操作」欄で、キーボードのあるキーを押したまま別のキーを押すときは、「コマンド＋ N」のようにキーの名前を「＋」記号でつないで示します。

XDCAM EX Clip Browser メニュー

コマンド名	操作	機能	参照先
環境設定	コマンド＋ ,	本ソフトウェアに関する環境設定を行う。	49 ページ
XDCAM EX Clip Browser を隠す	コマンド＋ H	本ソフトウェアを隠す / 表示する。	−
他を隠す	option ＋コマンド＋ H	本ソフトウェア以外のアプリケーションを隠す / 表示する。	−
XDCAM EX Clip Browser を終了	コマンド＋ Q	本ソフトウェアを終了する。	33 ページ

ファイルメニュー

コマンド名	操作	機能	参照先
フォルダ名変更	option ＋コマンド＋ R	選択したフォルダーの名前を変更する。	45 ページ
フォルダ作成	shift ＋コマンド＋ N	メディアまたはフォルダー内にフォルダーを作成する。	45 ページ
保存フォルダを開く	コマンド＋ N	Finder を起動し、現在選択しているフォルダーを開く。	45 ページ
インポート	shift ＋コマンド＋ M	MP4 ファイル（未登録クリップ）をインポートする。	41 ページ

編集メニュー

コマンド名	操作	機能	参照先
全コピー	option ＋コマンド＋ C	メディアまたはフォルダー内のクリップをすべてコピーする。	47 ページ
カット	コマンド＋ X	選択したクリップをカットする（切り取る）。	39 ページ
コピー	コマンド＋ C	選択したクリップをコピーする。	38 ページ
貼り付け	コマンド＋ V	カットまたはコピーしたクリップを貼り付ける。	38 ページ 39 ページ
削除	コマンド＋ delete	選択したクリップを削除する。	40 ページ
全てを選択	コマンド＋ A	メディアまたはフォルダー内のクリップをすべて選択する。	−
プロパティ	コマンド＋ I	選択したクリップのプロパティウィンドウを表示する。	43 ページ
フォルダ分割	shift ＋コマンド＋ W	選択したフォルダーを、指定したサイズで分割する。	46 ページ
フォルダ結合	shift ＋コマンド＋ J	選択したフォルダーに、指定した別のフォルダーを結合する。	47 ページ
特殊文字	option ＋コマンド＋ T	文字パレットを開き、特殊文字と記号の挿入を可能にする。	−

表示メニュー

コマンド名	操作	機能	参照先
ルートフォルダ変更	shift ＋ option ＋コマンド＋ W	ツリー表示部のルートフォルダーを変更する。	37 ページ
上へ	コマンド＋ ↑	1 つ上のフォルダーへ移動する。	37 ページ
アイコンの整列 >Title	shift ＋ option ＋コマンド＋ N	リスト表示部のクリップを、タイトルをキーにして昇順 / 降順に並べ替える。	35 ページ
アイコンの整列 >Size	shift ＋ option ＋コマンド＋ S	リスト表示部のクリップを、サイズをキーにして昇順 / 降順に並べ替える。	
アイコンの整列 >Duration	shift ＋ option ＋コマンド＋ D	リスト表示部のクリップを、デュレーションをキーにして昇順 / 降順に並べ替える。	
アイコンの整列 >Date	shift ＋ option ＋コマンド＋ C	リスト表示部のクリップを、撮影日時をキーにして昇順 / 降順に並べ替える。	
検索	コマンド＋ F	クリップを検索する。	42 ページ

ビューアーメニュー

コマンド名	操作	機能	参照先
再生制御 > 再生	5 または L	再生を開始する。	36 ページ
再生制御 > 停止	スペースまたは K	現在位置で動作を停止する。	
再生制御 > 早送り	S	現在位置より後ろをサーチする（早送り）。	
再生制御 > 巻き戻し	A	現在位置より前をサーチする（巻き戻し）。	
再生制御 > 先頭へ	Q	クリップの先頭フレームへ移動する。	
再生制御 > 終端へ	W	クリップの最終フレームへ移動する。	
再生制御 >+1 Frame	4	1 フレーム進む。	
再生制御 > − 1 Frame	3	1 フレーム戻る。	
表示 > 全画面	コマンド+ return	スクリーンを全画面表示にする。	42 ページ

ウィンドウメニュー

コマンド名	操作	機能	参照先
しまう	コマンド+ M	アクティブなウィンドウを最小化する。	−
表示位置の初期化	option +コマンド+ E	操作ウィンドウの表示位置とサイズを初期状態に戻す。	34 ページ

本ソフトウェアでは、GNU Lesser General Public License（LGPL）を使用しています。
ライブラリー名：FFMPEG

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
本製品は以下の LGPL 適用ソフトウェアを使用しており、お客様にはこれらのソフトウェアのソースコードの入手、改変、再配布の権利があることをお知らせします。

FFMPEG
- avcodec-51.dll
- avformat-51.dll
- avutil-49.dll

これらのソースコードは、付属の CD-ROM の ClipBrowser/SRC フォルダー内に収録されています。
また、以下のホームページからダウンロードすることもできます。
http://www.sony.net/Products/Linux/Download/search.html

なお、ソースコードの内容についてのお問い合わせはご遠慮ください。

FFmpeg は FFmpeg プロジェクトの創始者である Fabrice Bellard の商標です。

お問い合わせは
「ソニー業務用製品ご相談窓口のご案内」にある窓口へ

ソニー株式会社 〒108-0075　東京都港区港南1-7-1

http://www.sony.co.jp/